土木工事成績採点表及び考査項目別運用表 _{令和6年度}

呉 市



工事成績採点表

件名													and a	青負代金	新				円														
受注者					契約	工期						~	н	12/2/1/17	- HPK	工事	の完成	期限						- 1		年月日							$\overline{}$
> 1000 FI	l		_	般監督	, .,,				主任	壬監督	員等				検査	1 (中国						検査員	1 (中間	튁2)	検査員(完成)								
		氏名					氏名						氏名						氏名			氏名											
考査項目	細別	а	b	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d e	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е	а	a'	b	b'	С	d	е
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-10.0																											
	Ⅱ. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-10.0																											
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0							+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0	+5.0		+2.5		0	-7.5	-15.0
	Ⅱ. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-10.0	+2.0		+1.0		0	-7.5 -15.0																					
	Ⅲ. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-10.0	+3.0		+1.5		0	-7.5 -15.0																					
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0																											
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0							+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0	+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-10.0	-20.0
	Ⅱ. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0							+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0	+15.0	+12.0	+7.5	+4.0	0	-12.5	-25.0
	Ⅲ. 出来ばえ												+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0		+5.0		+2.5		0	-5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等 ※ 2						+20.0	~	0																								
5. 創意工夫	I. 創意工夫 ※3	+7.0	~	0																													
6. 社会性等	I. 地域への貢献等 ※4						+10.0	+7.5	+5.0	+2.5	0																						
加減点合計((1+2+3+4+5+6)				点						点						点							点							点		
評定点(65点	土加減点合計) ※ 1	1			点		2				点		3				点			3				点			4				点		
					点	_	・中間	間検査が	ぶあった	_場合			×0.4+). 2+3		点×0.	2+4		点×0.2	2=							点				
7. 評定点計							中間	間検査が	ぶ無かっ	った場合		※但し、③① 点	(中間) ×0.4+					点×0.	4=										点				
8. 法令遵守等	* 7										点																				点		
9. 評定点合計	<u> </u>					0	7. 割	平定点計	+ (点) -	- 8. 浩	去令遵守等(点	(j) =		点																	
	所見 ※5	(—#	投監督員	1)	另	川紙のと	こおり					(主任監督	員等)	另	川紙のと	おり					(検査	員)				別紙の	のとおり)					

- ※1 各表定点(①~④)は小数点第1位までとする。
- ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境、社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。
 - 評価に当たっては一般監督員からの報告を受けて、主任監督員等が評価するものとする。
- ※3 創意工夫は、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。
- ※4 社会性等の評価では地域貢献の観点から、加点評価のみとする。
- ※5 所見は、加減点した内容について必ず記載する。 ※6 各考査項目ごとの採点は、一般監督員は別紙-1
 - 各考査項目ごとの採点は、一般監督員は別紙-1、主任監督員等は別紙-2、検査員は別紙-3によるものとし、完成検査の場合は検査員の評定に先立ち、一般監督員・主任監督員等が記入する。
- ※7 法令遵守等の評価は、主任監督員等が行い、減点評価のみとする。
- ※8 評定点合計は四捨五入して整数とする。

工事に関する所見

令和 年度 第 号

一般監督員	主任監督員等	横査員
① 施工体制(施工体制一般・配置技術者)	① 施工状況(工程管理·安全対策)	① 施工状況(施工管理)
② 施工状況(施工管理·工程管理·安全対策·対外関係)	② 社会性等(地域貢献)	② 出来形及び出来ばえ(出来形・品質・出来ばえ)
③ 出来形及び出来ばえ(出来形・品質)・その他(創意工夫)	③ その他(工事特性・法令遵守等)	③ その他
	O C C C C C C C C C	W C V E



考査項目	細 別	а	b	С	d	е
1. 施工体制	I 施工体制一般	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
		-	評価値= 0.0% ストのうち , 施工体制一般について指示 は施工方法が確定した時期に提出してい		□ 施工体制一般に関して, 監督員が文書による 改善指示を行った。	□ 施工体制一般に関して, 監督員からの文書による 改善指示に従わなかった。
		施工計画書の内容と現場施工				
		作業分担の範囲を,施工体制台 元請が下請の作業成果を検査	か帳及び施工体系図に明確に記載している している	ò o		
			生した場合の対応が速やかである。			
		現場に対する本店や支店によ	る支援体制を整えている。			
		工場製作期間における技術者	を適切に配置している。			
		機械設備,電気設備等につい いる。	て,製作工場における社内検査体制(規	格値の設定や確認方法等)を整えて		
		品質証明員が関係書類、出来 効に機能している。	形・品質等の確認を工事全般にわたって	実施して、品質証明に係る体制が有		
		電気設備等について,設備更 制を整えている。	新時の新旧設備の切り替え作業における	予期できない事象等に対応できる体		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・・ 評価値が80%未満・・・・・・	a ② 削除項目の た比率(%)記 c ③ 評価値(0	西対象項目」のうち、対象としない項目 のある場合は削除後の評価項目数を母数 十算の値で評価する。 .0%)=該当項目数(0)/評価対象項 余後の評価対象項目数が2項目以下の場	として計算し 目数 (12)	

考査項目	細別	a	b	С	d	е
1. 施工体制	Ⅱ配置技術者(現場代理人等)	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
		●評価対象項目 【全体を評価する項目 「施工プロセス」チェックリン	評価値= 0.0% 】 ストのうち,配置技術者について指示事	項が無い。	□ 配置技術者に関して, 監督員が文書による 改善指示を行った。	□ 配置技術者に関して、 監督員からの文書による 改善指示に従わなかった。
		作業に必要な作業主任者及び呼	専門技術者を選任及び配置している。			
		【現場代理人を評価す	る項目】			
		現場代理人が , 工事全体を把	握している。			
		設計図書と現場との相違があっ	った場合は,監督員と協議するなどの必	要な対応を行っている。		
		監督員への報告・連絡を適時				
		【監理(主任)技術者 ※特例監理技術者の指導によ	を評価する項目】 り,監理技術者補佐が適正に実施した場	合も評価するものとする。		
		共通仕様書及び諸基準に基づ	き,工事書類を適切に作成し提出又は提	景でしている。		
		契約書・設計図書・適用すべる	き諸基準等を理解し、施工に反映してい	>る。		
		施工上の課題となる条件(作業	業環境,気象,地質等)への対応を図っ	ている。		
		下請の施工体制及び施工状況を	を把握し,技術的な指導を行っている。			
		監理(主任)技術者が、明確が	な根拠に基づいて技術的な判断を行って	いる。		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・・) 評価値が80%未満・・・・・・・	a b c c ^② 削除項目 た比率(%) 3 評価値(価対象項目」のうち、対象としない項目 のある場合は削除後の評価項目数を母数 計算の値で評価する。 0.0%) =該当項目数(0) /評価対象項 除後の評価対象項目数が2項目以下の場	として計算し 目数 (11)	

考査項目	細 別	a	b	С	d	е
2. 施工状況	I 施工管理	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
			評価値= 0.0% ストのうち , 施工管理について指示事 現場条件を反映したものとなっている。		□ 施工管理に関して, 監督員が文書による 改善指示を行った。	□ 施工管理に関して , 監督員からの文書による 改善指示に従わなかった。
		ルエ計画者が, 設計図書及い 現場条件の変化に対して, 適				
		工事材料を品質に影響が無い	よう保管している。			
ļ		日常の出来形管理を,設計図	書及び施工計画書に基づき適時及び的種	隹に行っている。		
		日常の品質管理を、設計図書	及び施工計画書に基づき適時及び的確に	2行っている。		
		現場内の整理整頓を日常的に	行っている。			
		指定材料の品質証明書及び写	真等を保管している。			
		工事打合せ簿を,過不足無く	整理している。			
		建設副産物の再利用等への取	り組みを適切に行っている。			
		工事全般において、低騒音型	・低振動型 ・排出ガス対策型の建設	幾械及び車両を使用している。		
Ţ		電気設備等について,設備更 る。	新時の新旧設備の切り替え作業(作業=	F順や確認方法等)を適切に行ってい		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・・ 評価値が80%未満・・・・・・	a b c 2 削除項目 た比率(%) 3 評価値	価対象項目」のうち、対象としない項目のある場合は削除後の評価項目数を母数計算の値で評価する。 (0.0%) =該当項目数(0) /評価対象項除後の評価対象項目数が2項目以下の数	效として計算し 頁目数 (13)	

考查項目	細別	a	b	С	d	(一般監督貝用)
2. 施工状況	Ⅱ 工程管理	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
		●評価対象項目 「施工プロセス」チェックリ	評価値= 0.0% ストのうち,工程管理について指示事	項が無い。	□ 工程管理に関して、 監督員が文書による 改善指示を行った。	□ 工程管理に関して, 監督員からの文書による 改善指示に従わなかった。
			巴握し,それらを反映した計画工程表を コーアップを行っており,適切に工程を			
		現場条件の変化への対応が近	迅速であり、施工の停滞が見られない。			
		時間制限や片側交互通行等の	の各種制約への対応が適切であり,大き	きな工程の遅れが無い。		
		工事の進捗を早めるための関	反り組みを行っている。			
		適切な工程管理を行い、工程	星の遅れがない。			
		休日の確保を行っている。 計画工程以外の時間外作業/	がほとんど無い。			
		その他(理由:)	
		●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・ 評価値が80%未満・・・・・	・b ② 削除項 ・c た比率(% ③ 評価値	評価対象項目」のうち、対象としない項目のある場合は削除後の評価項目数を母か計算の値で評価する。 (0.0%) =該当項目数(0) /評価対象削除後の評価対象項目数が2項目以下の	数として計算し 項目数 (10)	

考查項目		細	別	_	b		d	(一般監督貝用)
2. 施工状況	ш	安全対策	ДIJ	a □ 適切である		c □ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	e □ 不適切である
2. // 1/1/1/	""	女工 ////////////////////////////////////		●評価対象項目	評価値= 0.0%	□ 匝の計画に該当しない		
					ストのうち , 安全対策について	指示事項が無い。	□ 安全対策に関して,監督員 が文書による改善指示を 行った。	□ 安全対策に関して、監督員 からの文書による改善指示 に従わなかった。
				災害防止協議会等 を1回/	月以上行っている。			
				安全教育及び安全訓練等 を	半日/月以上実施している。			
				新規入場者教育の内容に、当	当該工事の現場特性を反映してい	る。		
				工事期間を通じて,労働災害	害及び公衆災害が発生しなかった			
				過積載防止に取り組んでいる	3.			
				仮設工の点検及び管理を、気	チェックリスト等を用いて実施し	ている。		
				保安施設の設置及び管理を,	各種基準及び関係者間の協議に	に基づき実施している。		
				地下埋設物及び架空線等に関	関する事故防止対策に取り組んで	い る。		
				その他(理由:)		
				●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・ 評価値が80%未満・・・・・・	· a · b · c ③ 4	当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数 比率(%)計算の値で評価する。 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項 なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場	かとして計算し 頁目数 (10)	

考査項目		細 別	ıl	a	b	С	d	е					
2. 施工状況	IV 対外関	係		□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である					
					評価値= 0.0% リストのうち、対外関係について指示事	事項が無い。	□ 対外関係に関して,監督が文書による改善指示を 行った。	員 □ 対外関係に関して、監督員 からの文書による改善指示 に従わなかった。					
				関係官公庁などと調整を行い、トラー	ブルの発生が無い。								
		工事の目的及び内容を,工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 第三者からの苦情が無い。もしくは,苦情に対して適切な対応を行っている。 関連工事との調整を行い,円滑な進捗に取り組んでいる。											
									その他(理由:)		
				●判断基準 評価値が90%以上・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・ 評価値が80%未満・・・・・	・a ・b ・c ② 削除・ た比率(③ 評価値	「評価対象項目」のうち、対象としない項 頁目のある場合は削除後の評価項目数を最 (%)計算の値で評価する。 直(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象 削除後の評価対象項目数が2項目以下の	み数として計算し 象項目数 (7)						

考査項目	а	b	С	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ I 出来形 土木工事等	11721におり、側に値が	□ 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	□ 出来形の測定が、必要な測定項目 について所定の測定基準に基づき 行われており、測定値が規格値を 満足し、a、bに該当しない。	□ 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため,監督員が文書で改善 指示を行った。	
	 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。 ① 出来形の評定は、工事全般を通じて記念。 ② 出来形とは、設計図書に示された工業。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管ななお、当該管理基準によりがたい場合。 ④ 出来形管理項目を設定していない工業 				

考査項目	工 種	a	ь	С	d	е
3. 出来形及び	機械設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
出来ばえ		●評価対象項目 据付に関する出来形管理が、L	評価値= 0.0% 出来形管理図及び出来形管理表より確認	できる。	□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったた め、監督員が文書で	□ 契約約款第17条に 基づき,監督員が 改造請求を行った。
I 出来形		設備全般にわたり、形状及び	寸法の実測値が許容範囲内である。		改善指示を行った。	
		施工管理基準の撮影記録が撮影	影基準を満足している。			
		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	出来形管理項目について,監督員と協議	の上で管理している。		
		不可視部分の出来形を写真撮影	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			
		塗装管理基準の塗膜厚管理を通				
		溶接管理基準の出来形管理を通 社内の管理基準に基づき管理!				
		設計図書に定められている予例				
		分解整備における既設部品等の 等に記録している。	の摩耗,損傷等について,整備前と整備	後の劣化状況及び回復状況を図表		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・ 評価値が60%以上80%未満・・・) 評価値が60%未満・・・・・・・	a ② 削除項目の た比率(%)計 c ③ 評価値(0	価対象項目」のうち、対象としない項目 のある場合は削除後の評価項目数を母数 計算の値で評価する。 0.0%) =該当項目数(0)/評価対象項 除後の評価対象項目数が2項目以下の場	として計算し 目数 (11)	

考査項目	工 種	a	b	С	d	е
	電気設備工事・通信設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
出来ばえ	• 受変電設備工事	●評価対象項目	評価値= 0.0%			D = ±11.06.06.±1.00 + 0.70.7
		据付に関する出来形管理が,と	出来形管理図及び出来形管理表により確	認できる。	□ 出来形の測定方法又は 測定値が不適切であったた め,監督員が文書で	□ 契約約款第17条に 基づき,監督員が 改善請求を行った。
I 出来形		機器等の測定(試験)結果が, る。	その都度出来形管理図及び出来形管理	表に記録され,適切に管理してい	改善指示を行った。	
		不可視部分の出来形を写真撮影	影している。			
		設計図書に定められていないと	出来形管理項目について、監督員と協議	の上で管理している。		
		設備全般にわたり,形状及び	寸法の実測値が許容範囲内である。			
		設備の据付及び固定方法が設	計図書又は承諾図書通り施工している。			
		配管及び配線が、設計図書又の	は承諾図書通りに敷設している。			
		測定機器のキャリブレーション	ンを,定期的に実施している。			
		行先などを表示した名札がケー	ーブルなどに分かり易く堅固に取り付け	ている。		
		配管及び配線の支持間隔や絶線	縁抵抗等について,設計図書の仕様を満	足していることが確認できる。		
		社内の管理基準に基づき管理	している。			
		設計図書に定められている予値	備品等に不足が無い。			
		高温部等の危険個所への二重える。	表示,二重防護など運用における不可抗	力を想定した安全対策がなされてい		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・ 評価値が60%以上80%未満・・・ 評価値が60%未満・・・・・・	a b c ② 削除項目の た比率(%)計	「対象項目」のうち、対象としない項目に)ある場合は削除後の評価項目数を母数と ・算の値で評価する。 ・0%)=該当項目数(0)/評価対象項目	:して計算し	
			④ なお,削りする。	会後の評価対象項目数が2項目以下の場合	rはc評価と	

考査項目	a	b	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ Ⅱ 品質 土木工事等	足し、そのばらつきが規格値の概 ね50%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目に ついて所定の測定基準に基づき行 われており、測定値が規格値を満 足し、そのばらつきが規格値の概 ね80%以内である。	□ 品質の測定が、必要な測定項目に ついて所定の測定基準に基づき行 われており、測定値が規格値を満 足し、a、bに該当しない。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で 改善指示を行った。	□ 契約約款第17条に基づき、監督員が改造請求を 行った。
		物の規格である。 」の試験項目,試験基準及び規格値に基づく全ての段階に こついては,監督員と協議の上で品質管理を行うものであ			

考査項目	細別	а	b	С	d	e
3. 出来形及び	機械設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
出来ばえ		●評価対象項目 材料,部品の品質照合の書類	評価値= 0.0% (現物照合)の内容が設計図書の仕		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた	□ 契約約款第17条に基づき,監督員が改造請求を
II 品質		設備の機能及び性能を、承諾			例だ値が不適切であっただめ, 監督員が文書で 改善指示を行った。	き,監督員が以垣請求を 行った。
		設計図書の仕様を踏まえた詩	#細設計を行い,承諾図書として提出	けしている。		
		機器の品質、機能及び性能が	談計図書を満足して、成績書にまと			
		溶接管理基準の品質管理項目	について規格値を満足している。			
		塗装管理基準の品質管理項目	について規格地を満足している。			
		操作制御設備について,操作 きる。	ミスイッチや表示灯を承諾図書のとま	らり配置し、正常に作動することが確認で		
		操作制御設備の安全装置及び	「保護装置が承諾図書のとおり機能し	ている。		
		小配管、電気配線・配管が、	承諾図書のとおり敷設している。			
		設備の取扱説明書を適切に作	成している。			
		完成図書(取扱説明書)に定	E期的な点検及び交換を必要とする部			
		機器の配置について、点検し	やすくしている。			
		設備の構造や機器の配置につ	oいて,部品等の交換作業が容易にて			
		二次コンクリートの配合試験	食及び試験練りが実施され、試験成績	最まにまとめられている。		
		バルブ類の平時の状態を示す	ラベルなどが見やすい状態で表示し	ている。		
		計器類に運転時の適用範囲を	見やすく表示している。			
		回転部や高音部等の危険個所	fに表示又は防護をしている。			
		構造物の劣化状況をよく把握	として, 適切な対策を施していること	が確認できる。		
		現地状況を勘案し施工方法等	まについて提案を行うなど, 積極的に	取り組んでいる。		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・ 評価値が60%以上80%未満・・ 評価値が60%未満・・・・・	・a ・b ・c ② 削除す た比率(③ 評価値	「評価対象項目」のうち、対象としない項目 頁目のある場合は削除後の評価項目数を母数 %)計算の値で評価する。 直(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場	として計算し 目数 (20)	

考査項目	工 種	а	b	С	d	e
3. 出来形及び	電気設備工事・通信設備工事	□ 適切である	□ ほぼ適切である	□ 他の評価に該当しない	□ やや不適切である	□ 不適切である
出来ばえ	· 受変電設備工事	●評価対象項目	評価値= 0.0%	•		
		製作着手前に、品質や性能の	確保に係る技術検討を実施している。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であったた	□ 契約約款第17条に基づ き,監督員が改造請求を
Ⅱ 品質		材料,部品の品質照合の結果; ていることが確認できる。	が,品質保証書等(現物照合を含む)で	で確認でき、設計図書の仕様を満足し	め,監督員が文書で 改善指示を行った。	行った。
		機器の品質、機能及び性能が、	設計図書を満足し,成績書にまとめて	いる。		
		操作スイッチや表示灯が承諾	図書のとおり配置され、正常に作動する	ことが確認できる。		
		ケーブル及び配管の接続などの	の作業が施工計画書に記載された手順に	1沿って行われ,不具合が無い。		
		設備の機能及び性能が設計図	書の仕様を満足していることが確認でき			
		操作制御関係の機能及び性能 護装置の作動が確認できる。				
		設備の総合性能が、設計図書の	の仕様を満足していることが確認できる			
		現場条件によって機器(製品) (る。				
		設備全体についての取扱説明 る。	書を適切に作成(修繕(改造・更新含む			
		完成図書で定期的な点検や交換	喚を要する部品及び箇所を明示している			
		設備の構造において,点検や液	消耗品の取替え作業が容易にできる。			
		障害、災害発生を想定した代表	替機能,迂回などのフェールセーフ機能	色を現地試験等で確認している。		
		設備の耐震設計について、受済	住者自らが確認、精査したことが確認で	ご きる。		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・・ 評価値が60%以上80%未満・・・ 評価値が60%未満・・・・・・	a ② 削除項目の b た比率(%)計 c ③ 評価値 (0.	対象項目」のうち、対象としない項目は ある場合は削除後の評価項目数を母数と 算の値で評価する。 0%) =該当項目数(0) /評価対象項目 後の評価対象項目数が2項目以下の場合	して計算し 数 (15)	

考査項目	細 5	別	工 夫 事 項
5. 創意工夫	I創意工夫		
			【施工】
			□ 施工に伴う器具,工具,装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転調整に関する工夫。
			□ コンクリート二次製品などの代替材の利用に関する工夫。
			□ 土工,地盤改良,橋梁架設,舗装,コンクリート打設等の施工に関する工夫。
			□ 部材並びに機材等の運搬及び吊り方式などの施工方法に関する工夫。
			□ 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。
			□ 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ類の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。
			□ 照明などの視界の確保に関する工夫。
			□ 仮排水,仮道路,迂回路等の計画的な施工に関する工夫。
			□ 運搬車両,施工機械等に関する工夫。
			□ 支保工,型枠工,足場工,仮桟橋,覆工板,山留め等の仮設工に関する工夫。
			□ 盛土の締固度,杭の施工高さ等の管理に関する工夫。
			□ 施工計画書の作成,写真の管理等に関する工夫。
			□ 出来形又は品質の計測,集計,管理図等に関する工夫。
			□ 施工管理ソフト,土量管理システム等の活用に関する工夫。
			□ ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの何れかの段階でICTを活用した工事(電子納品のみは除く)。
			□ ICT活用工事加点として起工測量から電子納品までの全ての段階でICTを活用した工事。 ※本項目は2点の加点とする
			※ICT活用による加点は最大2点の加点とする。
			□ 特殊な工法や材料を用いた工事。
			□ 優れた技術力又は能力として評価する技術をを用いた工事。
			【新技術活用】
			「新技術活用」においては,以下の5項目により,複数の技術の評価を可能とするが,最大3点の加点とする。 ただし,加点対象は受注者側から新技術活用を提案した場合のみとし,発注者が指定し活用した場合は加点措置を行わないものとする。
			□ NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し,活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は3 点の加点とする
			□ NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し,活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は2 点の加点とする
			□ NETIS登録技術のうち事後評価未実施技術または事後評価で「有用とされる技術」と評価された技術を活用し、活用の効果が従来技術と同程度である。 ※本項目は1点の加点とする
			□ NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が相当程度確認できた。 ※本項目は2点の加点とする
			□ NETIS登録技術のうち事後評価実施済み技術(「有用とされる技術」を除く)を活用し、活用の効果が一定程度確認できた。 ※本項目は1点の加点とする ※ここで「有用とされる技術」とは、「公共工事等における新技術活用システム」実施要領で定める「活用促進技術」、「推奨技術」、「準推奨技術」、「評価促進技術」等をいう。

別紙-1

(一般監督昌用)

考査項目	細 別	工 夫 事 項						
		【品質】 □ 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。						
		□ コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □						
		□ 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。						
		□ 配筋,溶接作業等に関する工夫。						
		【安全衛生】 □ 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ※本項目は2点の加点とする。						
		安全を確保するための仮設備等に関する工夫。(落下物 , 墜落 ・転落, 挟まれ , 看板 , 立入禁止柵 , 手摺り , 足場等)						
		□ 安全教育,技術向上講習会,安全パトロール等に関する工夫。						
		□ 現場事務所,労務者宿舎等の空間及び設備等に関する工夫。						
		□ 有毒ガス並びに可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。						
		□ 一般車両突入時の被害軽減方策又は一般交通の安全確保に関する工夫。						
		□ 厳しい作業環境の改善に関する工夫。						
		□ 環境保全に関する工夫。						
		【働き方改革】						
		「働き方改革」では,当該工事において,他の模範となるような取組を,以下の項目により,複数評価を可能とするが,最大2点の加点とする。 □ 週休2日(4週8休以上)の確保に向けた企業の取り組みが図られている。						
		□ 若手や女性技術者の登用など,担い手確保に向けた取り組みが図られている。						
I		【その他】)					
		□ その他(理由:	,					
)					
		□ その他(理由:)					
		□ その他(理由:						
)					
		□ その他(理由:						
		【剑卒工士办兴师范压】工士办内容五77日化协力会人274						
	記述評価	【創意工夫の詳細評価】工夫の内容及び具体的内容を記載 加点 評 点 : 0 点						
	(該当した評価内容を詳細記述)							

- ※1 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2 評価は各項目において1つ該当すれば1,2,3点で評価し、該当する数と重みを勘案して、最大7点の加点評価とする。
- ※3 該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によって委はそれ以上加点を与えても良い。
- ※4 上記の考査項目の他に評価に値する受注者の工夫があれば、その他に具体の内容を記載して加点する。なお、総括監督員等が評価する「4.工事特性」との二重評価は行わない。



(主任監督員等用)

考查項目		細	別	а	b	С	d	(土仕監督貝等用) e			
2. 施工状況	Ⅱ 工程	管理		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている			
				●評価対象項目	評価値= 0.0%	•	-				
				隣接する他の工事などとの]	L程調整に取り組み,遅れを発生させ	ることなく工事を完成させた。					
				地元及び関係機関との調整は	こ取り組み、遅れを発生させることな	く工事を完成させた。					
				工程管理を適切に行ったことにより、夜間工事の回避等を行い、工事による地域への影響を軽減させた。							
				工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。							
				現場閉所による週休2日(4週8休以上)に取り組んだ。							
				災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。							
				工事施工箇所が広範囲に点在している場合において,工程管理を積極的に行い,余裕をもって工事を完成させた 。							
				設備更新等の工事において、機能停止期間の短縮など、工事による利用者への影響を軽減させた。							
				その他(理由:)						
				●判断基準 上記該当項目を総合的に判断	折して, a, b, c, d, e評価を行	う。					

(主任監督員等用)

考査項目		細	別	a	b	С	d	(土江 <u></u> 直貝寺市)
2. 施工状況	III á	安全対策		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	ш			□ 優れている ●評価対象項目 建設労働災害及び公衆災害の 安全衛生を確保するための管	□ やや優れている 評価値= 0.0% 防止に向けた取り組みが顕著であった。 理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 の模範となるような活動に積極的に取り 創意工夫に取り組んだ。 積極的に取り組んだ。	□ 他の評価に該当しない		
					して, a, b, c, d, e評価を行う。			

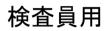
(主任監督員等用)

考査項目	細 別	対 応 事 項	(主任監督員等用) 【 事 例 】 具 体 的 な 施 工 条 件 等 へ の 対 応 事 項
4. 工事特性	I 施工条件等への対応	I 構造物の特殊性への対応 □ 1. 対象構造物の高さ,延長,施工(断)面積,施工深度等の規模が特殊な工事 □ 2. 対象構造物の形状が複雑であること等から,施工条件が特に変化する工事 □ 3. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。	(1. について) 切土の土工量: 15万m3以上, 藤井の土工量: 15万m3以上, 護岸・築堤の平均高さ: 10m以上, トンネル(シール))の直径: 8,000 mm以上, ダム用水門の設計水深: 25m以上, 樋門又は樋管の内空断面積: 15m2以上, 揚排水機場の吐出管径: 2,000mm以上, 堰又は水門の最大径間長: 25m以上, 堰又は水門の最大径間及: 10m以上, 堰又は水門の最大径間数: 10m以上, 堰又は水門の最大径間及: 25m以上, 堰又は水門の最大径間及: 25m以上, 東岸堤防・護岸・突堤又は離岸堤の水深: 10m以上, いる本の地滑り防止工の幅100m以上, 浚渫工の浚渫土量: 100万m3以上, 流路工の計画高水流量: 500m 3以上, 砂防ダムの堤高: 15m以上, ダムの堤高: 150m以上, 転流トンネルの流下能力: 400㎡/s以上, 橋梁下部工の高さ: 30m以上, 橋梁上部工の最大支間長: 100m以上(2. について)・砂防工事等において, 現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内の流水部における橋脚の撤去工事。・ 供用中の道路トンネルの拡幅工事。(3. について)・その他, 構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事・その他, 技術固有の難しさへの対応が必要である工事。・地山強度が低い又は土被りが薄いため, FEM解析などによる検討が必要な工事。
		Ⅱ 都市部等の作業環境、社会条件等への対応 □ 4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事 □ 5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 □ 6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 □ 7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事 □ 8. 事故や災害発生直後の緊急的な対応が必要な工事 □ 9. 施工箇所が広範囲にわたる工事 □ 10. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。	(4.について) ・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁等の工事。 ・市街地等の家屋密集地での,鉄道又は道路をアンダーパスする工事。 ・監視などの結果に基づき,工法の変更を行った工事。 (5.について) ・ガス管,水道管,電話線等の支障物件移設について,施工工程の管理に特に注意を要した工事。 ・地元調整や環境対策等の制約が特に多い工事。 ・そのほか各種制約があり,施工に特に厳しい制限を受けた工事。 (6.について) ・市街地での夜間工事。 ・DID地区での工事。 (7.について) ・目交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。 ・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。 ・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。 (8.について) ・事故や再発生直後の緊急的な対応が必要な工事で、24時間対応の施工等により早期の完成が求められる工事。 (9.について) ・権業現場が広範囲に分布している工事。 (10.について) ・施工ヤードの広さや高さに制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。 ・その他、周辺環境又は社会条件への対応が特に必要な工事。
		Ⅲ厳しい自然・地盤条件への対応 □ 11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 □ 12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 □ 13. 被災箇所の措置や急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事 □ 14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 □ 15. 維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事 □ 16. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば4点の加点とする。	(11.について) ・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法等による排水や大規模な山留めなどが必要な工事。 ・支持地盤の形状が複雑なため、深礎抗基礎毎に地質調査を実施する等、支持地盤を確認しながら再設計した工事。 ・施工不可能日が多いことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。 (12.について) ・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。 ・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。 (13.について) ・被災箇所における二次災害の危険性に対する注意が必要とされる工事 ・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。 ・斜面上又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。 ・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。 ・(14.について) ・イヌワシ等の猛禽類等の貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。 (15.について) ・維持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事。 (16.について) ・経持修繕工事等規模に比して地元調整等の手間がかかる工事。 (16.について) ・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。 ・その他、
		 □ 17. 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く) ※但し、文書注意に至らない事故は除く。 □ 18. その他(理由:) ※上記の対応事項に1つ以上該当すれば6点の加点とする。 	
<u> </u>	評 価	評点: 0点	

- ※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。 ※2 一般監督員が評価する「5. 創意工夫」との二重評価は行わない。 ※3 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

(主任卧枢昌笙田)

						(工厂皿目只寸/11)						
考査項目	細 別	a	a'	b	Ъ'	c						
6. 社会性等	I 地域への貢献等	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない						
		●評価対象項目										
		□ 周辺環境への配慮に積極	始に取り知りだ									
		月辺塚境、707町應(14)	門(これが無人)に。									
		□ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。										
		□ 児易事務所で作業児場の ■	環境を同辺地域との京観に告われ	とるなど,傾極的に同辺地域との調剤	で図った。							
		□ 定期的に広報紙の副布や刊提目学合築を実施して、 積極的に地域とのコミューケーションを図った										
		□ 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して,積極的に地域とのコミュニケーションを図った。										
		□ 道敦連提かびを積極的に実施 1 一− 掛値に貢献 1 た										
		□ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □										
		ロー地はボナ場ナブノベント	へ積極的に参加し、地域とのコミ									
		□ 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。										
		□ 火吉时なこにねV・C, 地域^^V/火仮入は11収なこによる秋仮伯動^^V/慎樫的な励力を行つだ。										
		□ その他(理由:										
		口での他(座曲・)							
		●判断基準										
		※上記該当項目を総合的	に判断して, a, a', b, b'	,c評価を行う。								
		1										



-te -t			1	1		1	(横雀負用)
考査項目	糸	- /4 4	a	b	C	d	e
2. 施工状況	I 施工管理	Ė	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
			施工計画書が、工事着手前又	評価値= 0.0% 号から5号に基づく設計図書の照査を行 は施工方法が確定した時期に提出され, 条件を反映したものとなっていることが	所定の項目が記載されているととも	□ 施工管理に関して,監督員 が文書による改善指示を 行った。	□ 施工管理に関して、監督員 からの文書による改善指示 に従わなかった。
			. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	条件を反映したものとなっていることが 書の記載内容と現場施工方法が一致して			
				な変更が生じた場合(工期や数量等の軽 出していることが確認できる。	を微な変更は除く) は,その都度当該		
			工事材料を品質に影響が無い	よう保管していることが写真等で確認で			
			立会確認の手続きを事前に行				
				り組みを行っていることが確認できる。			
				を法令等に沿った内容で適確に整備して			
)検査を書面で実施していることが確認 潔に整理していることが確認できる。	3 ぐさ る。		
			工事の関係音類を不足無く間	条に歪圧してv.ることが唯心できる。			
			社内の管理基準の設定,管理 る。	方法が工種毎に明確であり、その内容に	基づき管理していることが確認でき		
			品質証明体制が確立され,ISO わたって行っていることが確	09001又は品質証明員による関係書類,! 認できる。	出来形,品質等の確認を工事全般に		
			電気設備等について,設備更に実施していることが確認で	新時の新旧設備の切り替え作業を,作業 きる。	(手順書やチェックリストにより適切)		
		その他(理由:)		
			●判断基準 評価値が90%以上・・・・・・ 評価値が80%以上90%未満・・・ 評価値が80%未満・・・・・・	b	 当該「評価対象項目」のうち, 削除項目のある場合は削除後のた比率(%)計算の値で評価する。 評価値(0.0%)=該当項目数 なお,削除後の評価対象項目数する。 	評価項目数を母数として計算し(0) /評価対象項目数(14)	

考査項目	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び 出来ばえI 出来形 土木工事等	□ 出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規を値 を満足し、そのばらつき が規格値の概ね50%以 内で、下記の「評定対象 項目」の4項目以上が該 当する。	□出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規格値 を満足し、そのばらつき が規格値の概ね50%以 内で、下記の「評定対象 項目」の3項目以上が該 当する。	□ 出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規格つ 満足し、そのがばらつが が規格値の概ね80%以 内で、下記の「評定対象 項目」の3項目以上が該 当する。	□出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	□出来形の測定が、必要な 測定項目について所定の 測定基準に基づき行われ ており、測定値が規格値 を満足し、a~b'に該 当しない。		□ 出来形の測定方法又は測定 値が不適切であったため、 検査員が修補指示を行っ た。
			評価値= 0.0% 形管理図及び出来形管理図表 でごき管理していることが確認				
			が写真で確認できる。				
			- ,	7,監督員と協議の上で管理して	いることが確認できる。		
		その他(理由: ※ばらつきの判断は別紙-	- 4 参照。)		
		② 出来形とは、設計図 ③ 出来形管理とは、「 なお、当該管理基準に	事全般を通じて評定するものと 書に示された工事目的物の形式 土木工事施工管理基準」の測定 よりがたい場合等については 定していない工事は「c」評価		る管理体系である。		

考査項目	I	種	a	a '	b	b '	С		d	e (快進貝用)
3. 出来形及び	機械設備工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ I 出来形	(文/(X, D, X, III) 上 于		据付に関する出	価値= 0.0% 来形管理が,出来形管理図 り,形状及び寸法の実測値				□ 定値 め,	形の測定方法又は測 が不適切であったた 監督員が文書で指示 い改善された。	
			施工管理基準の	撮影記録が撮影基準を満足	呈し、出来形の確認ができ	:5.				
			設計図書で定め	られていない出来形管理項	頁目について, 監督員と協	3議の上で管理しているこ	とが確認できる。			
			不可視部分の出	来形が写真で確認できる。						
	塗装管理基準の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。									
			溶接管理基準の	出来形管理が適切にまとめ	うられており、出来形の確	電認ができる。				
			社内の管理基準	に基づき管理していること	が確認できる。					
			設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。							
			分解整備におけ していることが	る既設部品等の摩耗,損傷 確認できる。	夢について,整備前と整	を備後の老化状況及び回復	状況が図表等に記録			
			その他(理由:)			
			●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90 評価値が70%以上80 評価値が60%以上70 評価値が60%未満・	・・・・・a)%未満・・・a')%未満・・・b)%未満・・・b'	② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で③ 評価値(0.0%)=	i」のうち、対象としない ↑は削除後の評価項目数を 『評価する。 該当項目数(0) /評価対 n対象項目数が2項目以下	母数として計算し 象項目数 (11)			

考查項目		а	а'	b	b'	С		d	(快宜貝用) e
				-	-		П		
考査項目 3. 出来形及び 出来ばえ I 出来形	工 種 電気設備工事・通信設備工事・受変電設備工事	据付に関する出来機器等の測定(まとが確認できる。 写真管理基準の管不可視部分の出来設計図書で定めら 設備全般にわたり 設備の据付・固定配管及び配線が記 行先などを表示し	□ bより優れている fi値 = 0.0% そ形管理が、出来形管理図 対験)結果が、その都度出 管理項目を満足している。 そ形が写真で確認できる。 われていない出来形管理項 り、形状・寸法の実測値が ご方法が、設計図書又は承 な計図書又は承諾図書通り た名札が、ケーブルなと	□ やや優れている □ やや優れている □ なが出来形管理表により □ 水形管理図及び出来形管 □ 目について,監督員と協 「許容範囲内であることが は諾図書のとおり施工して 刺設していることが確認 「に分かり易く堅固に取り	□ cより優れている 確認できる。 で理表などに記録され、適 ででで理しているこ でできる。 できる。 できる。 付けている。	とが確認できる。	出来形 □ 定値が め, 監	d やや劣っている がの測定方法又は測 が不適切であったた で指示い改善された。	e □ 劣っている 出来形の測定方法又は測
		社内の管理基準に設計図書に定めら	%未満・・・a' %未満・・・b %未満・・・b'	: が確認できる。 - が無いことが確認できる - 護など運用における不可 ① 当該「評価 ② 削除項目の た比率(%)計 ③ 評価値(0.) o	が確認できる。) としない項目は削除する 項目数を母数として計算 /評価対象項目数(14)	l		

考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	e
. 出来形及び	コンクリート構造物工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質		コンクリートの配物総量,単位水量	,アルカリ骨材反応抑制	「っており, コンクリート 等) が確認できる。 施しており, 温度, スラ			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 を行った。
Ⅱ 品質		圧縮強度試験に使施工条件やできない。 コンクリートの打会。 コンクリートの打会が、カリートのが、 ロックの はいから がいから はいから はいから はいから できない かっから できない かっから できない かっから できない かっから できない かっから できない かっから できない はいから はいから はいから できない はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいから はいか	用したコンクリート供討 件に適した運搬時間, 打リ (寒中及び暑中コンクリート供詞 化寒中及び暑中コンクリート供詞 で寒中及び暑中コンクリート供詞 で寒中及び暑中コンクリート供詞 のなるとでは、必要な いまでにさび・どろ・油等 までにさび・どろ・油等 までにさび・どろ・油等 までにさび・どろ・油等 ない。 までにさび・どろ・油等 とが、設計図書の使用を をが、設計図書の使用を をが、設計図書の使用を をが、設計図書のを 無い。 はらつきで 「上の数末満ちのでは、この後ま満ちのよう。」 はらのきででは、この後ま満ちのよう。 はらのきででは、この後ま満ちのよう。 はらのきででは、この後ま満ちのよう。 はらのきででは、この後ま満ちのよう。 はらのきでは、この後ま、この後ま、この後ま、この後ま、この後ま、この後ま、この後ま、この後ま	は体が、当該現場の供試体では、当該現場の供試体では、当該現場の供試体では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	であることが確認できる。 め方法が、定められた条 び支保工の取り外しを行 できる。 できる。 できる。 できる。 が確認できる。 が確認できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	・ 体を満足しているこ ・	のうち,対象としない項目は は削除後の評価項目数を母数と	削除する。 して計算し 数 (14)

考査項目	工種	a	b	С	d d
3. 出来形及び	· ·	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目		-	
		コンクリート構造物の表面状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		コンクリート構造物の通りが良い。			
		天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			
		クラックが無い。			
		漏水が無い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当5項目以上・・・a			
		該当4項目・・・・b			
		該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d			

考査項目	工 種	a	a'	Ъ	b'	С	d	е
. 出来形及び	土工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(切土,盛土,堤防等工事)	●評価対象項目 評価値= 0.0% 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。					□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため,監督員が文書で指 示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 を行った。
Ⅱ 品質			に基づき行っていること	1	7. E. 1. V G. 1. C. 1. C	21,770		
			削を行うにあたり,掘削 に定められた条件を満足	ぶできる。				
		.,, , , , , , , , , , , ,	出し厚を管理しているこ		. · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
				・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	が確認できる。			
		構造物周辺の締固	めを設計図書に定められ	ιた条件で行っていること	が確認できる。			
		土羽土の土質が設	計図書を満足しているこ	とが確認できる。				
		CBR試験などの	品質管理に必要な試験を	·行っていることが確認で	きる。			
		法面に有害な亀裂	が無い。					
		伐開除根作業が設	計図書に定められた条件	=を満足していることが確	認できる。			
		その他(理由:)		
		[関連基準, 土オ		象項目の履行状況(評価の他設計図書に定められた。		断基準参照 >		
		●判断基準	ばらつきで判 50%以下 80%以 ⁻		•		目」のうち、対象としない項目 合は削除後の評価項目数を母数	
		評 90%以上 (石) 75%以上90% (值) 60%以上975% (60%以上975%	未満 a' b 未満 b b'	b b b' b' c c	_	た比率(%)計算の値 ③ 評価値(0.0%)= ④ なお,削除後の評		[目数 (12)
		60%未満注 試験結果の打点数等が少		【 c 】 c ない場合は評価対象項目(評	」 価値)だけで判断する。	する。		

考査項目		I.	種	а	b	С	(快宜貝州)
3. 出来形及び	土工事		144	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ			築堤等工事)	●評価対象項目			
				【切土工事】			
				(%TT4)			
Ⅲ 出来ばえ				規定された勾配が確保されている。			
				切土法面の施工にあたって、法面の浮き石	Fが除去されているなど,適切に施工されてい	5.	
				法面勾配の変化部について,干渉部を設け	けるなど適切に施工されている。		
				滞水などによる施工面の損傷が発生しない	いよう処理が行われている。		
				関係構造物等との取り合いが設計図書を満	最足するよう施工されている。		
				全体的な美観が良い。			
				●判断基準			
				該当5項目以上・・・a			
				該当4項目・・・・b			
				該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d			
				【盛土,堤防等工事】			
				仕上げが良い。			
				通りが良い。			
				天端及び端部の仕上げが良い。			
				構造物へのすりつけなどが良い。			
				全体的な美観が良い。			
				●判断基準			
				該当4項目以上・・・a			
				該当3項目・・・・b			
				該当2項目・・・・c			
				該当1項目以下・・・d			
				※出来ばえの評価は【切り土工事】【盛土,堤防等コ	E事】の,どちらか一方のみ評価すること		

考査項目	工 種	a	a'	Ъ	b '	С	d	е
3. 出来形及び	護岸・根固・水制工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価	值= 0.0%					
Ⅱ 品質			仕上げていることが確認 コンクリートの締固めを	認できる。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 を行った。		
		緑化ブロック, 石 よう行っているこ	積(張),法枠,かごマ とが確認できる。	7 3 77 7 31 2 3 3 3	3 17 7 120			
		石積(張)工にお	いて,大きさ及び重さが	0				
		護岸工の端部や曲	線部の処理が適切であり	,必要な強度及び水密性	を確保していることが確	認できる。		
		遮水シートが所定	の幅で重ね合わせられ、	端部処理が設計図書の仕	様を満足していることが	確認できる。		
		植生工で、植生の	種類,品質・配合及び養	をとが、設計図書の仕様を	満足していることが確認	できる。		
		根固工・水制工・ が確認できる。	沈床工・捨石工等におい	って, 材料の連結及びかみ	合わせが設計図書の仕様	を満足していること		
		指定材料の品質が	,証明書類で確認できる) 。				
		基礎工において,	掘り過ぎが無く施工して	いることが確認できる。				
		コンクリートブロ	ック等を損傷無く設置し	ていることが確認できる	0			
		施工にあたって、	床堀箇所の湧水及び滞水	(等は、排除して施工して	いることが確認できる。			
		埋戻し材料につい	て、設計図書の仕様を満	足していることが確認で	きる。			
		有害なクラックが	無い。					
		その他(理由:)		
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価値 他設計図書に定められた		新基準参照 >		
		評 90%以上 (石) 75%以上90%末 (面) 60%以上75%末 (百) 60%未満 (日) 60%未満 注 試験結果の打点数等が少	b b' c	80%を超える 判断不可能	(3) (4)	② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で記 ③ 評価値(0.0%)=該	のうち,対象としない項目は は削除後の評価項目数を母数と 平価する。 当項目数 (0) /評価対象項目 対象項目数が2項目以下の場合	して計算し 数 (15)

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	護岸・根固・水制工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目		·	
		通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ		材料のかみ合わせが良く、クラックが無い。			
		天端及び端部の仕上げが良い。			
		既設構造物とのすりつけが良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当4項目以上・・・a			
		該当3項目・・・・b			
		該当2項目・・・・c			
		該当1項目以下・・・d			

考査項目	工 種	a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び	鋼橋工事(RC床版工事はコ	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	ンクリート構造物に準じる)	●評価対象項目 評価	值= 0.0%					
		【工場製作関係】			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった		
Ⅱ 品質		鋼材の種別, 品質	を適切に管理している。				ため、監督員が文書で指	ため,検査員が修補指示
		溶接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	_{了っていることが確認でき}	る。		示を行い改善された。	を行った。
		溶接作業にあたり	,溶接材料の使用区分が	ぶ設計図書の仕様を満足し	ていることが確認できる	0		
		溶接施工に係る施	工計画書を提出している	ことが確認できる。				
		孔空けによって生	じたまくれが削り取られ	しているなど、きめ細やか	に製作していることが確	認できる。		
		欠陥部の発生が見	られないことが確認でき	る。				
		塗装作業にあたり	,塗布面を十分に乾燥さ	せて施工していることが	確認できる。			
		素地調整を行う場	合,第1種ケレン後4時	計間以内に金属前処理塗装	を実施していることが確	認できる。		
		塗料の空缶管理に	ついて,写真等で確実に	二空であることが確認でき	る。			
		塗料の品質が出荷	証明書・塗料成績表によ	り,製造年月日・ロット	番号・色彩・数量が確認	できる。		
		その他(理由:)		
		【架設関係】						
		ボルトの締付確認	が実施され、記録を保管	うしていることが確認でき	る。			
		ボルトの締付機及	び測定機器のキャリブレ	・ーションを実施している	ことが確認できる。			
		高力ボルトの締め	付けを,中心から外側に	こ向かって行っていること こ	が確認できる。			
		高力ボルトの品質	が,証明書類で確認でき	: る。				
		支承の据付で、コ	ンクリート面のチッピン	グ及び仕上げ面に水切勾	配がついていることが確	認できる。		
		架設にあたって、	部材の応力と変形等を十	-分検討していることが確	認できる。			
		架設に用いる仮設 確認できる。	備及び架設用機材につい	いて品質・性能が確保でき	る規模及び強度を有して	確認していることが		
		現場塗装部のケレ	ン及び膜厚管理を適切に	二 行っていることが確認で	きる。			
		現場塗装において	,温度・湿度・風速等の)確認を行っていることが	確認できる。			
		その他(理由:)		
		C 47 E (42 H)						
		[関連基準, 土木	結果のばらつきと評価対 に工事施工管理基準,その 断は別紙-4参照					
		※ばらつきの判断は別紙 - 4 参照。						
		●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。						
		50%以下 80%を超える 判断不可能 2 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し 1						
		価 75%以上90% 値 60%以上75%	未満 a' b	b' b'	7	③ 評価値 (0.0%)	=該当項目数(0)/評価対象項	
		60%未済	尚 b' c	с с с с		④ なお,削除後の記する。	平価対象項目数が2項目以下の場	易台は c 評価と
		注 試験結果の打点数等が	少なくばらつきの判断ができ	ない場合は評価対象項目(評	価値)だけで判断する。			

北木古口	T 15		1		1
考査項目	工種	a	b	С	đ
3. 出来形及び	鋼橋工事(RC床版工事はコ	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	ンクリート構造物に準じる)	●評価対象項目			
		表面に補修箇所が無い。			
Ⅲ 出来ばえ		部材表面に傷及び錆が無い。			
		溶接に均一性がある。			
		塗装に均一性がある。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当4項目以上・・・a			
		該当3項目・・・・b			
		該当2項目・・・・c			
		該当1項目以下・・・d			
		N-1- XH-X-1			

(烩杏昌田)

3. 出来形及び 出来ばえ 出来ばえ 上工事 (集水井工事を含む) □ Bより優れている □ やや優れている □ により優れている □ 他の評価に該当しない □ やや劣っている □ 劣っている □ 当価値= 0.0% □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった 別で値が不適切であった 別を見が不適切であった 別を見がである □ は かたの評価に該当しない □ やや劣っている □ かたの評価に該当しない □ かたの測を見がである □ は かたの記述 □ は か		1		-	1	-	I		(検査員用)
■ 計工事を含む) ■ 不確は発現目 容価値 - 0.08 [共通] ■ 上工事 (集水井工事を含む) ■ 表質 「共通] ■ 公別 リートの配合試験及び試験権力を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径、塩化 別定値が不適切であった。 監督は大きでは、水・数・酸を設めます。 2 カリサートの配合試験及び試験権力を行っており、コンクリートの品質(強度・w/c, 最大骨材粒径、塩化 別定値が不適切でため、監督は大きでは、水・数では、変化 (を表しが確認できる。 上箱強度試験に使用したコンクリート機動体が、当該現場の側試体であることが確認できる。 通路時間、打設時の投入高と、結園時のパイプレークの無限とび養生力法が、加工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。 (条件及び着中コンクリート等を含む) コンクリートの正確強度を実施しており、必要が速度に進た後に競特及び支偏工の取り外しを行っている。 独出との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 表筋及び解材の高質を、適切に管理していることを確認できる。 表面をクラックが無い。 その他 (想由: コンクリート打設までさび・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 鉄筋の相立及び加上が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 がルトの総付権認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ボルトの総付権認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ボルトの総付権認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 ボルトの総付権認が実施され、記録を保管していることが確認できる。	考査項目	- 1		a '	-	b '			
□ 品質	3. 出来形及び	砂防構造物工事及び地すべり防		I .	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
正縮強度試験に使用したコンクリート供款体が、当該現場の供款体であることが確認できる。 運搬時間、打設時の投入高さ、終国時のパイプレータの機種及び発生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を演足していることが確認できる。(集中及び奏保工の取り外しを行っている。 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 鉄筋及び鋼材の品質を、適切に管理していることを確認できる。 有害なクラックが無い。 その他(理由: 「砂防構造物工事に適用】 コンクリート打設までさび・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 加工基面を平常に仕上げていることが確認できる。 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ボルトの稀付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。	, ,,,,,,,	正工事 (果水井工事を召び)	【共通】 コンクリートの酉	己合試験及び試験練りを行		の品質(強度・w/c, s	最大骨材粒径,塩化	測定値が不適切であった ため,監督員が文書で指	測定値が不適切であった ため,検査員が修補指示
その他(理由:			圧縮強度試験に信 運搬時間、打設時間、打記時間、別れた名 コンクリートの日 地山とのび鋼材の品 有害なクラッセ・ 【砂防構造やフリートで 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	使用したコンクリート供診 時の投入高さ、締固時のパ 条件を満足していることが 正縮強度を管理しており、 つせを適切に行っているこ 計質を、適切に管理している。 活無い。 事に適用】 ひまでさび・どろ・油等の 口工が、設計図書の仕様を に、設計図書の仕様を満り という。	大体が、当該現場の供試体 ボイブレータの機種及び養 が確認できる。(寒中及び 必要な強度に達した後に とが確認できる。 いることを確認できる。 の有害物が、鉄筋に付着し できる。 とはないることが確認できる。 とはないることが確認できる。	であることが確認できる。 生方法が、施工条件及び 暑中コンクリート等を含型枠及び支保工の取り外 ないよう管理していることできる。 る。	。 「気象条件に適しておむ) トしを行っている。		

(検査員用) 【地すべり対策工事(抑止杭・集水井戸工事を含む)】 アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。 その他(理由: 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し 90%LY F た比率(%)計算の値で評価する。 価 75%以上90%未満 ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (21) 値 60%以上75%未満 b' ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と 60%未満 b' する。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

					(大旦只/11/				
考査項目	工種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	砂防構造物工事及び地すべり防	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	止工事 (集水井工事を含む)	●評価対象項目		·					
		地山との取り合いが良い。							
Ⅲ 出来ばえ		天端、端部の仕上げが良い。							
加 田水はん		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ	の自ちがらかがラス						
		旭工自生記録寺がり作り沈印力の田木はん	.の反さが ナルルんる。						
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準							
		該当3項目以上・・・a							
		該当2項目・・・・b							
		該当1項目・・・・c							
		該当項目なし・・・d							
		L							

(檢查員用)

考査項目	工種	a	a '	b	b '	С	d	(検査貝用) e
3. 出来形及び	-	□ 優れている	□ bより優れている		□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		_ 341 1 1	値= 0.0%				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		設計図書に定めら	れた試験方法でCBR値	Iを測定していることが確	認できる。		ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	
		路床及び路盤工の	プルーフローリングを行	fっていることが確認でき	: る。			
		路床及び路盤工の	密度管理が、設計図書の)仕様を満足していること	が確認できる。			
				正していることが確認て				
		ることが確認でき						
		路床盛土において	,一層の仕上がり厚を20	Ocm以下とし,各層ごとに	締固めて施工しているこ	とが確認できる。		
		路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めを、タンパ等の小型締固め機械により施工して いることが確認できる。						
		その他(理由:)		
		【アスファルト舗	装工関係】					
		アスファルト混合	物の品質が,配合設計及					
		舗装工の施工にあ	たって,上層路盤面の浮	き石などの有害物を除去	していることが確認でき	る 。		
		プラント出荷時,現場到着時,舗設時等において,アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。						
		舗設後の交通開放	が,定められた条件を満	記していることが確認て	ぎきる。			
		各層の継ぎ目の位						
		縦継目及び横継目	の位置・構造物との接合	か面の処理等が、設計図書	Fの仕様を満足しているこ	とが確認できる。		
		アスファルト混合	物の運搬及び舗設にあた	って,気象条件を配慮し	ていることが確認できる			
		密度管理が設計図	書の仕様を満足している	ことが確認できる。				
		その他(理由:)		

(検査員用)

【コンクリート舗装工関係】

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・ \mathbf{w}/\mathbf{c} ,最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。

舗装工の施工に先だって、上層路盤面の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

運搬時間,打設方法,養生方法が,施工条件及び気象条件に適しており,設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。

材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。

チェアー及びタイバーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

			ばら	つきで判断	可能	ばらつきで
			50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
1	平	90%以上	a	a'	b	b
佰	Б	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
佢	直	60%以上75%未満	b	b'	С	С
		60%未満	b'	С	С	С

- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。
- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(25)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と する。

考査項目	工種	a	ь	С	d
3. 出来形及び	舗装工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	-	●評価対象項目 舗装の平坦性が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		構造物の通りが良い。			
		端部処理が良い。			
		構造物へのすりつけ等が良い。			
		雨水処理が良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d			

(給杏昌田)

		**			_			T	(検査員用)
考査項目	工 	種	a 口 / 国 lo z lo z	a'	b ロ ぬめ傷している	b'	C C	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	法面工事		□ 優れている●評価対象項目 評価	┃ □ bより優れている i値= 0.0%	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
			【共通】	1 1 2 7 2				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質			施工基面を平滑に	仕上げていることが確認	恩できる。 (特に法枠工,	コンクリート又はモルタ	ル吹付工関係)	ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	
			施工に際して、品	1質に害となる施工面の滔	多き石やゴミ等を除去して	から施工していることが	な確認できる。		
			盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。			きる。			
			雨水による崩壊が	起こらないように, 排オ	<対策を実施していること	が確認できる。			
			その他(理由:)		
			【種子吹付工,客	土吹付工,植生基材吹作	丁工関係 】				
			土壌試験の結果を	施工に反映していること	が確認できる。				
			ネットなどの境界	に隙間が生じていないこ	ことが確認できる。				
			ネットなどが破損	を生じていないことが確	雀認できる。				
			吹付け厚さが均等	であることが確認できる	, o				
			使用する材料の種	類・品質・配合等が設計	十図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。			
			施工時期が定めら	れた条件を満足している	ることが確認できる。				
			その他(理由:))	
			【コンクリート又	【はモルタル吹付工関係】					
			使用する材料の種	類・品質及び配合が,認					
			金網の重ね幅が,	10cm以上確保されて	こいることが確認できる。				
			金網が破損を生じ	ていないことが確認でき	きる。				
			吸水性の吹付け面	iにおいて,事前に吸水さ	くせてから施工しているこ	とが確認できる。			
			吹付け厚さが均等	であることが確認できる	, o				
			吹付け厚さに応じ	て2層以上に分割して施	直工していることが確認て	ぎきる。			
			圧縮強度試験に使	 用したコンクリートの使	共試体が,当該現場の供認	大体であることが確認でき	きる。		
			不良箇所が生じな	いよう跳ね返り材料の処	L理を行っていることが確	 「認できる。			
			法肩の吹付けにあ	たり、地山に沿って巻き	ら込んで施工していること	:が確認できる。			
			有害なクラックが	無い。					
			その他(理由:)		

(検査員用)

【現場打法枠工関係(プレキャスト法枠工含む)】

使用する材料の種類・品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。

現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。

強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。

枠内に空隙が無いことが確認できる。

層間にはく離が無いことが確認できる。

不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評	90%以上	а	a'	b	b
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	С	С	С

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し
- た比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (31)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

(給杏昌田)

					(快宜貝用)
考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	法面工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ		植生、吹付等の状態が均一である。			
		端部処理が良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d			

(檢查員用)

								(快宜貝用)
考査項目	工種	a	a'	Ъ	b'	С	d	е
3. 出来形及び	落石防止網工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(ロープネット工等を含む)		值= 0.0%					
		施工場所の地形・	地質・落石形態等を確認	し、適正に施工されてい	ることが確認できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	
Ⅱ 品質		材料の品質規格証	:明書が整備されているこ	とが確認できる。			ため、監督員が文書で打	
		クリップ,結合コ	イル等の配置が適切で適	i正に施工されていること	が確認できる。		示を行い改善された。	を行った。
		緊張及びグラウト	管理が適切に実施されて	いることが確認できる。				
		装置(機器)のキ	ャリブレーションが実施	iされていることが確認で	きる。			
		主・副各ロープの	張り方が,適切で適正に	施工されていることが確	認できる。			
		ロープ支柱の設置	(場所・角度等)が,適	i切で適正に施工されてい	ることが確認できる。			
		ネットの重ね幅が	適正に確保・施工されて	いることが確認できる。				
		その他(理由:				,		
)		
		●判断基準						
		評価値が90%以上・・	· · · · · a) 当該「評価対象項目」	のうち,対象としない項	頁目は削除する。		
		評価値が80%以上90%			は削除後の評価項目数を母	:数として計算し		
		評価値が70%以上80%	(3	た比率(%)計算の値で評 評価値 (0.0%) =該	『価する。 当項目数(0)/評価対象	3項目数 (9)		
		評価値が60%以上70%	o木滴・・・b 4	なお,削除後の評価対	する。 対象項目数が2項目以下の			
		評価値が60%未満・・	· · · · · c	する。				

考査項目	工 種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	落石防止網工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	(ロープネット工等を含む)	●評価対象項目 ロープの通りが良い。							
Ⅲ 出来ばえ		落石防止網の設置状況が良い。							
		部材表面に傷,錆が無い。							
		端部処理が良い。							
		公共構造物としての安全性、環境及び維持	管理への配慮が良い。						
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d							

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	е
. 出来形及び	基礎工事及び地盤改良工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価 【杭関係(コンク	値= 0.0% リート・鋼管・鋼管井筒	i,場所打,深礎等)】			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		杭に損傷及び補修	痕が無いことが確認でき	る。			ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示を行った。
		既製杭の打止め管 認できる。	理の方法及び場所打杭の	施工管理の方法が整備さ	れており、その記録を整	理していることが確	小を打い攻害された。	を1J つ た。
		杭頭処理において	,杭本体を損傷していな	いことが確認できる。				
		水平度・鉛直度等	が,設計図書を満足して	いることが確認できる。				
		溶接の品質管理に	関して、設計図書の仕様	を満足していることが確	認できる。			
		支持地盤に達して	いることが,掘削深さ・	掘削土砂等により確認て	きる。			
		場所打杭について	,トレミー管をコンクリ	ート内に2m以上挿入し	て施工していることが確	認できる。		
		掘削深度・排出土 満足していること		安定液を用いる場合の孔	内の安定液濃度並びに比	重等が,設計図書を		
		配筋、スペーサー	の配置及びコンクリート	打設等が,設計図書の仕	:様を満足していることが	確認できる。		
		ライナープレート	の組み立てにあたり、偏	心と歪みに配慮して施工	していることが確認でき	る。		
		裏込材注入の圧力	などが施工記録により確	認できる。				
		強度確認、セメン	トミルクの比重管理など	の品質に係わる事項の管	理資料を整理しているこ	とが確認できる。		
		その他(理由:)		
		【地盤改良関係】						
		改良材のバッチ管	理記録が整理され,設計	・図書の仕様を満足してい	ることが確認できる。			
		セメントミルクの	比重・スラリー噴出量・	強度等の管理資料を整理	!していることが確認でき	る。		
		事前に土質試験を	実施し、改良材の選定、	必要添加量の設定等を行	っていることが確認でき	る。		
		施工箇所が均一に	改良されているとともに	、十分な強度及び支持力	を確保していることが確	認できる。		
		その他(理由:)		
				象項目の履行状況(評価 [®] の他設計図書に定められた	直)から判断する。<判断 試験7	所基準参照>		
		※ばらつきの判断		一世	. P~07.]			
		●判断基準						
		▼1381	ばらつきで判 50%以下 80%以下	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			のうち,対象としない項目は削除後の評価項目数を母数とし	
		評 <u>90%以上</u> 価 75%以上90%末	a a' 満a' b	b b'		た比率(%)計算の値で評 	価する。 当項目数(0)/評価対象項目数	fr (19)
		值 60%以上75%未	満 b b'	С С	4	なお、削除後の評価対	象項目数が2項目以下の場合は	
		60%未満 注 試験結果の打点数等が少	b' c なくばらつきの判断ができな			する。		

考査項目	工種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	基礎工事及び地盤改良工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目土工関係の仕上げが良い。								
Ⅲ 出来ばえ										
	□ 地盤改良	※地盤改良はb評価以下とする。(地盤改)●判断基準該当3項目以上・・・a該当2項目・・・・b該当1項目・・・・c該当項目なし・・・d		※不可視部は「施工管理記録などから不可視部可視部は「土工関係の仕上げが良い」において出来ばえの良さが確認できた場合に評価するこいては最大2項目の評価とする。	施工管理記録などから					

考査項目	エ	種	a	a '	b	Ъ'	С	d	е
3. 出来形及び	海岸工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ			O FI IIII () C C C C C C C C C C C C C C C C C C	値= 0.0% 縮強度を管理し,必要な	☆強度に達した後に型枠及	とび支保工の取り外しを行	テっていることが確認	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	
Ⅱ 品質			運搬,打設,締め	固めが,気象条件に適し	しており,設計図書の仕様	後を満足していることが確	超認できる。	示を行い改善された。	を行った。
			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			本であることが確認できる	,) ₀		
			コンクリートプロ	ックの転直及び仮直にあ	ったって、強度確認を行っ	つている。			
			転倒や崩壊等が無	いようコンクリートブロ	ュックの仮置を行っている	ることが確認できる。			
			捨石基礎の均し面	を平坦に仕上げているこ	ことが確認できる。				
			工事期間中, 1日	1回は潮位観測を実施し	して記録していることが確	笙認できる。			
			台風などの異常気	象に備えて施工前に避難	推場所の確保及び退避設備	前の対策を講じていること	が確認できる。		
			その他(理由:)		
			[関連基準, 土木		0他設計図書に定められた			のでよ。特殊人1 よい落口は*	
			評 90%以上 (T5%以上90% (10%以上75%) 60%以上75% 60%未満 注 試験結果の打点数等が少	50%以下 80%以下 a a' b;滿 b' b' b' c	5 80%を超える 判断不可能 b b b' b' c c c c	3	削除項目のある場合は た比率(%)計算の値で評 評価値(0.0%)=該計	のうち,対象としない項目は肖 削除後の評価項目数を母数とし 価する。 当項目数 (0) /評価対象項目数 象項目数が2項目以下の場合に	して計算し 数 (9)

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	海岸工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 構造物等の通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえば	の良さが伺える。		
		構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。			
		構造物等のきめ細やかな施工がなされている	る。		
		クラックがない。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・ b 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・ d			

考査項目	工種	a	a '	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び	コンクリート橋上部工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(PC及びRCを対象)	【橋梁(コンクリ	値= 0.0% 一ト橋)上部工事,補修		測定値が不適切であった			
Ⅱ 品質			合試験及び試験練りを行 、アルカリ骨材反応抑制		の品質(強度・w/c, 昴	 表大骨材粒径,塩化	ため, 監督員が文書で指 示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示 を行った。
		コンクリート受け	入れ時に必要な試験を実	施しており,温度,スラ	ンプ、空気量等の測定結	果が確認できる。		
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供討					
		施工条件や気象条 とが確認できる。	件に適した運搬時間,打					
		コンクリートの圧 認できる。	縮強度を管理して,必要	な強度に達した後に型枠	及び支保工の取り外しを	行っていることが確		
		コンクリートの養	生が、設計図書の使用を	満足していることが確認	できる。			
		鉄筋の品質を、適	切に管理していることが	確認できる。				
		鉄筋の引張強度及	び曲げ強度の試験値が,	設計図書の使用を満足し	ていることが確認できる	0		
		コンクリート打設	までにさび・どろ・油等	の有害物が鉄筋に付着し	ないよう管理しているこ	とが確認できる。		
		圧接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	っていることが確認でき	る。			
		鉄筋の組立及び加	工が,設計図書の仕様を	満足していることが確認	できる。			
		スペーサーの品質	及び個数が、設計図書に	定められた条件を満足し	ていることが確認できる	0		
		プレビーム桁のプ	プレフレクション管理が,	設計図書の仕様を満足し	ていることが確認できる	0		
		使用する装置及び	機器のキャリブレーショ	ンを事前に実施している	ことが確認できる。			
		PC鋼材の緊張及	びグラウト注入管理値が	、設計図書の仕様を満足	していることが確認でき	る。		
		プレストレッシン	グ時のコンクリート圧縮	強度が,設計図書の仕様	を満足していることが確	認できる。		
		コンクリート圧縮	強度の確認は、構造物と	同様な養生条件におかれ	た供試体を用いているこ	とが確認できる。		
		有害なクラックが	無い。					
		その他(理由:)		
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価付 他設計図書に定められた	直)から判断する。<判断 試験]	所基準参照 >		
		_●判断基準			_			
			ばらつきで判		1		」のうち、対象としない項目は	
		評 90%以上		b b	j	② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で	は削除後の評価項目数を母数と 評価する。	して計算し
		価 75%以上90% 値 60%以上75%		b' b' c			該当項目数(0)/評価対象項目 対象項目数が2項目以下の場合	
		60%未満 注 試験結果の打点数等が少		C C C		まる。	N ≫ × H W W . 2 . X H W V / 2 / M D	16 C HI IM C
	1	エ	なくはり:Jさの判断ができた	ょ v ∵勿口 は計 Ⅲ 刈 豕 垻 日 〔 評 1[10世/たりで判断する。			

					(快旦貝用)
考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	コンクリート橋上部工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目			
		コンクリート構造物の表面状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		コンクリート構造物の通りが良い。			
		天端及び端部の仕上げが良い。			
		支承部の仕上げが良い。			
		クラックが無い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当5項目以上・・・a			
		該当4項目・・・・b			
		該当3項目・・・・・c			
		該当2項目以下・・・d			

考査項目	工	種	a	a '	b	b'	С		d	е
3. 出来形及び	塗装工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質			塗装作業にあたり	値= 0.0% , 塗布面を十分に乾燥さ 施していることが確認で	させて施工していることが	が確認できる。		測えたと	質関係の測定方法又は 定値が不適切であった め、監督員が文書で指 を行い改善された。	測定値が不適切であった
Ⅱ 品質			天候状況の確認, 塗料を使用前に撹 鋼材表面及び被塗 塗料の空缶管理に 塗り残し,ながれ 溶接部,ボルトの 塗料の品質が出荷 その他(理由:	気温及び湿度の測定を行 拌し、容器の塗料を均一 装面の汚れ、油類等を除 ついて写真等で確実に空 、しわ等が無く塗装され 接合部分、構造の複雑な 証明書、塗料成績表によ 古果のばらつきと評価対き 工事施工管理基準、その	い、塗装作業を行っていな状態にしてから使用しまし塗装を行っていることが確認できる。 こであることが確認できる。 これることが確認できる。 いおうについて、必要な塗り、製造年月日、ロット	ていることが確認できる。 とが確認できる。 は に に に に に に に に に に に に に に に に に に	が確認できる。 まできる。)			
			評 90%以上 75%以上90% 60%以上75% 60%以上75% 60%末満 注 試験結果の打点数等が少	未満 a' b 未満 b b' b' c	5 80%を超える 判断不可能 b b b' b' c c c c	② ③ ④) 当該「評価対象項目」 削除項目のある場合に た比率(%)計算の値で言) 評価値(0.0%) =該) なお,削除後の評価対 する。	は削除後の 平価する。 当項目数	の評価項目数を母数と (0) /評価対象項目	して計算し 数 (10)

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	塗装工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 塗装の均一性が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		細部まできめ細かな施工がされている。			
		補修箇所が無い。			
		ケレンの施工状況が良好である。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d			

考査項目	工 種	a	a '	b	b'	c	d	е
3. 出来形及び	トンネル工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		コンクリートの配	値= 0.0% 合試験及び試験練りを行 ,アルカリ骨材反応抑制	テっており, コンクリート 引等) が確認できる。	の品質(強度・w/c, f	最大骨材粒径,塩化	測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示
Ⅱ 品質		コンクリート受け	入れ時に必要な試験を実	돋施しており,温度,スラ	ンプ、空気量等の測定結	果が確認できる。	示を行い改善された。	を行った。
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供記	はなが、当該現場の供試体	であることが確認できる	o		
		施工条件及び気象 認できる。	条件に適した運搬時間,	打設方法及び締固め方法	が,定められた条件を満	足していることが確		
		吹付コンクリート	の配合及びロックボルト	への種別,規格が,設計図	書の仕様を満足している	ことが確認できる。		
		設計図書に定めら	れた岩区分(支保工パタ	マーン含む)の境界を確認	して施工を行っていること	とが確認できる。		
		坑内観察調査など	について,設計図書の仕	比様を満足していることが	確認できる。			
		計測管理を日々行	っており,その結果に基	基づいた施工を行っている	ことが確認できる。			
		金網の継ぎ目を1	5 cm以上重ね合わせてV	いることが確認できる。				
			の施工にあたって, 浮石 工していることが確認で	5等を除いた後に,吹付コ ごきる。	ンクリートの一層の厚さ	が15cm以下で地山		
		吹付コンクリート	を打継ぎする場合は、ゆ	付完了面を清掃した上,	湿潤状態で施工している	ことが確認できる。		
		ロックボルトの定	着長が、設計図書の仕様	兼を満足していることが確	認できる。			
		防水工に防水シー いることが確認で		ュックボルト等の突起物に	モルタルや保護マット等	で防護対策を行って		
		逆巻きの場合にお 認できる。	いて,側壁コンクリート	、とアーチコンクリートの	打継目が同一線上で施工	していないことが確		
		その他(理由:)		
			工事施工管理基準, その	象項目の履行状況(評価化 の他設計図書に定められた	_, , , ,	新基準参照 >		
		●判断基準	ばらつきで判 50%以下 80%以	断可能 ばらつきで 下 80%を超える 判断不可能			[目」のうち,対象としない項目 合は削除後の評価項目数を母数を	
		評 90%以上 (石) 75%以上90% 5 (面) 60%以上75% 5	k満 a' b k満 b b'	b b b' b' c c	<u>-</u>	④ なお,削除後の割	『で評価する。 =該当項目数 (0) /評価対象『 『価対象項目数が2項目以下の場	
		60%未満 注 試験結果の打点数等が少		cc ない場合は評価対象項目(評化	」 西値)だけで判断する。	する。		

to the second					(大五兵/11/
考査項目	工 種	a	b	c	d
3. 出来形及び	トンネル工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 コンクリート構造物の表面状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		コンクリート構造物の通りが良い。			
		天端仕上げ、面取り、端部仕上げ等が良い。	0		
		クラックが無い。			
		漏水が無い。			
		取付け水路,桝等小型構造物の仕上げが良	۱۰.		
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当6項目以上・・・a			
		該当5項目・・・・b			
		該当4項目・・・・c			
		該当3項目以下・・・d			

与宜坝日	上 悝	a	a	D	D	С		α	e
3. 出来形及び	公園整備等工種の多い工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(植栽,標識工は別途)	O HT IIM / 1-31 / THE	値= 0.0% 明書やミルシートが整備	着されている。				関係の測定方法又は 値が不適切であった	
Ⅱ 品質		施工基面が平滑に	仕上げられている。					in 所述的であるだれ に監督員が文書で指	
		施工基面の床掘り る。	が適切に行われ、必要り	J上に深く掘削する等基面	jを乱すことなく施工して	いることが確認でき	示を行	行い改善された。	を行った。
		コンクリート受け	入れ時に、温度、スラン	/プ,空気量等必要な試験	食を実施しており, 測定結	果が確認できる。			
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供診	ば体が,当該現場の供試体	であることが確認できる	0			
				締固時のバイブレータの こいることが確認できる。					
		コンクリートの圧 できる。	縮強度を管理し、必要な	★強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	っていることが確認			
		埋め戻し方法が適	切で転圧状況が良好であ	らることが確認できる。					
		材料の保管管理が	適切に行われていること	さが確認できる。					
		材料のかみ合わせ	又は,連結が適切で, 裏	憂込め材の吸出しの恐れが	(無い。				
		裏込め材,胴込め	コンクリートの充填・網	第め固めが十分で空隙が生	Eじていない。				
		ブロック工の端部	や曲線部の処理・強度・	水密性が適切である。					
		石積み工の端部や	曲線部の処理・強度が通	適切であり,積み姿が良い	١.				
		塗料の空缶監理が	,写真等で適切に管理さ	られている。					
		施工前のケレンが	入念になされ, 施行時の	気温及び湿度等の条件が	整理記録されている。				
		側溝工等の端部や	曲線部の処理・強度・オ	<密性が適切である。					
		インバートが適切	に施工されていることか	『確認できる。					
		路床路盤工のプル	一フローリングを行って	こいる。					
		路盤の施工に先立	ち,突き固め試験,密度	ぼ試験を行い,適切に管理	!されている。				
		アスファルト混合	物の温度管理が適切に行	 行われていることが確認で	ぎきる。				
		アスファルト舗装	において適切な温度管理	里のもと交通開放が行われ	ていることが確認できる	0			
		機器の品質,機能	, 性能が成績書等で確認	忍でき満足している。					
		塗装管理が設計書	のとおり実施され、内容	序が確認でき,欠陥が無く	満足している。				
		植生または種子吹	付けの種類, 品質, 配合	合, 施工後の養生が適切で)試験結果のばらつきと評価:			判断する。<判断基準参照>
		有害なクラックが	無い。			,土木工事施工管理基準,そ その判断は別紙-4参照。	の他設計図	昔に疋められた試験」	
		その他(理由:				\			
		●判断基準				,			
		Therap	ばらつきで判断す					対象としない項目は削	
		評 90%以上	50%以下 80%以下 a a'	b b		② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で		評価項目数を母数とし	て計算し
		価 75%以上90%未満 値 60%以上75%未満		b' b' c		③ 評価値 (0.0%) = i ④ なお,削除後の評価			
		60%未満 注 試験結果の打点数等が少な	b' c / C / C / C / C / C / C / C / C / C /	c c c 場合け評価対象項目(評価値)が	だけで判断する	する。	1/1/ 今·只日 效	~ 宣 来日の 1 シン物口は	I
		L PMX加入V11 小	(1997年かり) (1941)	※ ロ (4日 四 / 1) ※ 次日 (IT 回 10) /	CIT CTIBLE VO				

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	公園整備等工種の多い工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	(植栽,標識工は別途)	●評価対象項目 二次製品等材料に細心の注意が払われてい	n5.		
Ⅲ 出来ばえ		きめ細かな施工がなされている。			
		構造物とのすりつけが良い。			
		材料のかみ合わせが良い。又は、クラック	が無い。		
		塗装の均一性が良い。			
		公共物としての安全性,環境及び維持管理	しへの配慮が良い。		
		植生,吹付け等の状態が均一である。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当7項目以上・・・a 該当6項目・・・・b 該当5項目・・・・c 該当4項目以下・・・d			

考査項目	エ	種	a	a'	b	b '	С		d	е
3. 出来形及び	植栽工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない] やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ			活着が促されるよ	値= 0.0% う管理していることが確 ・イギれ等が無いよう促進		ごなきひできて		測た	質関係の測定方法又は 定値が不適切であった め、監督された。	測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示
Ⅱ 品質			樹木等の生育に害施工完了後、余剰 肥料が直接樹木の植生する樹木に応添木をぐらつきが	にくずれ等が無いよう保護のある害虫等がいないこり 技の剪定、整形その他必 根に触れないよう均一に にで、余裕のある植穴を 無いよう設置しているこ ですい場所に据付けている	とが確認できる。 要な手入れを行っている 施肥していることが確認 堀り植穴底部を耕してい とが確認できる。	ことが確認できる。)	示	を行い改善された。	を行った。
				T事施工管理基準, その 	他設計図書に定められた 断可能	à	① 当該「評価対象② 削除項目のあるた比率(%)計算の③ 評価値(0.0%)	場合は 値で評 = 該当	のうち,対象としない項 削除後の評価項目数を最 面する。 項目数 (0) /評価対象 聚項目数が2項目以下の	3数として計算し 東項目数 (9)

					(大旦兵/11/
考査項目	工種	a	b	С	d
3. 出来形及び	植栽工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 樹木の活着状況が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		支柱の取り付けがきめ細かく施工されてい	る。		
		支柱の取り付けが堅固である。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d			

考査項目	工 種	а	a '	b	b '	С	d	е		
3. 出来形及び	遊具設置工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている		
出来ばえ Ⅱ 品質		材料の品質規格記 コンクリート受け コンクリートの圧 できる。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	プ,空気量等必要な試験 強度に達した後に型枠及	を実施しており、測定結び支保工の取り外しを行		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため,監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった		
		基礎周りの埋戻し	時の締固めが適切に行わ	かれていることが確認でき	る。					
		材料の保管管理が適切に行われ,キズ,塗装のはがれ等損傷が無いことが確認できる。								
		仕様書に定められた品質管理が実施されていることが確認できる。								
		遊具のボルト,ナ	・ット等の締付けが十分で	あることが確認できる。						
		その他(理由:)				
		[関連基準, 土木	 大工事施工管理基準、その断は別紙-4参照。 ばらつきで判 50%以下 80%以下 は、a a' 未満 a' b 大満 b' c 	断可能 ばらつきで 80%を超える 判断不可能 b b' b' c c c c c c c c c		 当該「評価対象項目 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で 評価値(0.0%)= 	」のうち、対象としない項目は は削除後の評価項目数を母数と 調性する。 変当項目数(0)/評価対象項目 対象項目数が2項目以下の場合	して計算し 数 (9)		

考査項目	工 種	a	b	С	d						
3. 出来形及び	遊具設置工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている						
出来ばえ		●評価対象項目 部材表面に傷, 錆, 変色及び補修箇所が無	●評価対象項目 部材表面に傷、錆、変色及び補修箇所が無い。								
Ⅲ 出来ばえ											
各部材の連結が適切に処理、管理され、遊具のボルト・ナット等の締付けが十分である。											
		遊具の安全領域に配慮された施工となっている。									
		全体的な美観が良い。									
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d									

考査項目	工種	a	a'	b	b '	С	d	е	
3. 出来形及び	防護柵(網)・標識・区画線等	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている	
出来ばえ Ⅱ 品質	設置工事	●評価対象項目 評価値 = 0.0% 防護柵設置要綱,視線誘導標設置基準,道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。 □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった 測定値が不適切であった ため,監督員が文書で指 示を行い改善された。 応め,監督員が文書で指 示を行い改善された。							
		,	, , , , , , , , , , , ,	万及び鉄筋コンクリートの 1装面へ影響が無いよう施	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		V C (V) (C C (V) (C C (V))	3.0.7.25	
			ルエにめたって、 いて地盤の地耐力を把握	: ଧର					
		防護柵の支柱の根	入長が,設計図書の仕様	を満足していることが確					
		ガードケーブルを	支柱に取付ける場合,設	計図書に定められた所定	確認できる。				
		ガードケーブルの ることが確認でき		⁻ る場合,打設したコンク	リートが設計図書に定め	られた強度以上であ			
		ペイント式(常温を	t)区画線に使用するシン	ナーの使用量が、10%	以下であることが確認で	ぎきる。			
		区画線の厚さが見	本等で設計図書の仕様を	満足していることが確認	できる。				
			,	設計図書の仕様を満足し					
		区画線の施工にあ	たって、設置路面の水分	▶・泥・砂じん及びほこり	を取り除いて行っている	ことが確認できる。			
		区画線を消去の場 できる。	合,表示材(塗料)のみ	の除去となっており,路	面への影響が最小限とな	つていることが確認			
		プライマーの施工	にあたって,路面に均等	に塗布していることが確	認できる。				
		区画線の材料が,	設計図書の仕様を満足し	ていることが確認できる	o				
		その他(理由:)			
			工事施工管理基準、その	象項目の履行状況(評価値 他設計図書に定められた	_, , ,	斯基準参照 >			
	●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。								
50%以下 80%以下 80%と超える 判断不可能 評 90%以上 a a' b b' c c c c 60%以上75%未満 b' c c c c c c c 60%未満 b' c c c c c c c c								1数(16)	
		注 試験結果の打点数等が少			 価値)だけで判断する。				

考査項目 工 種	a	b	c	d			
3. 出来形及び 防護柵 (網)・標識・区画線等		□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている			
出来ばえ設置工事	●評価対象項目 【防護柵(網)】						
Ⅲ 出来ばえ	通りが良い。		●判断基準				
	端部処理が良い。		該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b				
	部材表面に傷及び錆が無い。						
	既設構造物等とのすりつけが良い。		該当3項目・・・・c				
	きめ細やかに施工されている。		該当2項目以下・・	• d			
	全体的な美観が良い。						
	【区画線】						
	塗料の塗布が均一である。		●判断基準				
	視認性が良い。		該当4項目以上・・	• a			
	接着状態が良い。		該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d				
	施工前の清掃が入念に実施されている。						
	全体的な美観が良い。						
	【標識】						
	設置位置に配慮がある。		●判断基準				
	標識板の向き並びに角度及びその支柱の	の通りが良い。	該当4項目以上・・	• a			
	標識版の支柱に変色が無い。		該当3項目・・・・	• b			
	支柱基礎が入念に埋め戻されている。		該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d				
	全体的な美観が良い。						
	I Disable to The Control of the Cont	a meritificate NBB later 1 have					
	※【防護柵】,【区画線】,【標識】のうち	11種を選択する。					

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	С		d	е
3. 出来形及び	電線共同溝工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		O FT IMES G SAT SATISFIES	値= 0.0% , 品質を証明する書類で	確認できる。			測定	「関係の測定方法又は を値が不適切であった)、監督員が文書で指	測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。						行い改善された。	を行った。
		プラント出荷時・ きる。	現場到着時・舗設時等に	おいて、アスファルト混	合物の温度管理が記録し	ていることが確認で			
		特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。							
		特殊部等の施工において, 隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確 認できる。							
		埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。							
		舗装の復旧等が適	舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。						
		管枕及び埋設シー	管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
		管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。							
		その他(理由:)			
			工事施工管理基準,その 所は別紙 - 4 参照。 ばらつきで判 50%以下 80%以下 a a' b, 大満 b b' b' c	 断可能 ばらつきで 80%を超える 判断不可能 b c c c c c 		① 当該「評価対象項② 削除項目のある場た比率(%)計算の値③ 評価値(0.0%)④ なお,削除後の評する。	易合は削除 直で評価す =該当項	後の評価項目数を母る。 る。 目数 (0) /評価対象	数として計算し 項目数 (10)

考査項目	工種	а	b	С	d d				
3. 出来形及び	電線共同溝工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ		●評価対象項目 歩道及び車道の舗装(含,仮復旧舗装)の	の 勾配が適切で,有害な段差が無く平坦性が確保さ	れている。					
Ⅲ 出来ばえ		プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。							
施工管理記録などから,不可視部分の出来映えの良さが伺える。									
	全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d							

(檢查員用)

考查項目	T. 種	a	a '	b	h '	c	Ь	(快宜貝用) e
3. 出来形及び	コンクリート補修工事	 □ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	_ =	□ 優れている ●評価対象項目 評価 仕様書に記載され 材料の品質規格記 施工計画書及びエ ハツリ・ケレンが 鉄筋の処理が設計 施工時の気温,温 接着剤塗布面が乾	□ bより優れている id=0.0%	□ やや優れている 管理基準等が施工計画は とが確認できる。 はする施工方法の手順が であることが確認できる。 はなことが確認できる。 はないる。	□ cより優れている 書に明記されていることが 確認できる。	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
		充填材が適性であ	6未満・・・a' 2 6未満・・・b' 3 4	はされたことが確認できる。 されたことが確認できる。 されたことが確認できる。 当該「評価対象項目」 削除項目のある場合に た比率(%)計算の値で評価値(0.0%) = 該	る。 のうち、対象としない項 は削除後の評価項目数を母	数として計算し 項目数 (12)		

考査項目	工 種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	コンクリート補修工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 部材の接着状態が良い。								
Ⅲ 出来ばえ		端部処理が良い。								
		既設構造物とのすりつけが良い。								
		漏水が無い。								
		細部まできめこまかな施工がなされている	0							
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d								

(烩杏昌田)

考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び	橋梁修繕工事(橋脚補強,	□ 優れている	□ bより優れている		□ cより優れている		□ やや劣っている	□ 劣っている
	橋梁修繕工事(橋脚補強,	□ 優れている ●評価対象項目 評価 使用する材料の品きる。 構造物の劣化状況 監督職員の指示事でいることが確認	□ bより優れている 値= 0.0% 質・形状等が適切であり とをよく把握して、適切な 項に対して、現地状況を できる。		□ cより優れている →確認を適宜・的確に行っ が確認できる。 造についての提案を行うな	□ 他の評価に該当しない っていることが確認で など積極的に取り組ん		□ 劣っている □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
		理由: 理由: 理由: 理由: 理由: 型由: ●判断基準 該当項目が6項目以上 該当項目が5項目・・ 該当項目が3項目・・ 該当項目が3項目・・ 該当項目が3項目・・	· · · a' · · · b · · · b'					

考査項目	工種	a	b	С	d d
3. 出来形及び	橋梁修繕工事(橋脚補強,	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	耐震補強,落橋防止等)	●評価対象項目 小構造物等にも注意が払われている。			
Ⅲ 出来ばえ		きめ細やかな施工がなされている。			
		既設構造物等とのすりつけが良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d			

(檢查員用)

考査項目	工 種	a	a '	b	Ъ'	С	d	(検査貝用) e
3. 出来形及び	維持修繕や小規模な付属構造物	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	工事等	材料の品質規格	平価値= 0.0% 外証明書が整備されているこ	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	測定値が不適切であった			
Ⅱ 品質			骨に仕上げられている。				ため,監督員が文書で指示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示し を行った。
		施工基面の床場る。	望が適切に行われ,必要以上	かを打い込音で40/こ。	&1197c.			
		コンクリートラ	とけ入れ時に,温度,スラン					
		圧縮強度試験に	工使用したコンクリート供記	代体が,当該現場の供試体	であることが確認できる)。		
			设方法,打設時の投入高さ, 定められた条件を満足して					
		盛土・埋戻した	方法が適切で転圧状況が良好					
		材料の保管管理	里が適切に行われていること					
			□積(張), 法枠, かごマット □とが確認できる。	けの吸出しが無いよう				
		裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを,空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。 側溝工等の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。						
		インバートが通	適切に施工されていること か					
		路床・路盤工の	プルーフローリングを行っ	っていることが確認できる) _o			
		施工に先立ち、	突き固め試験、密度試験を	そ行い,適切に管理されて	いることが確認できる。			
		アスファルト混合物の温度管理が適切に行われていることが確認できる。						
		アスファルト舎	#装において適切な温度管理	型のもと交通開放が行われ	していることが確認できる)。		
		芝付け及び種子	- 吹付を設計図書に定められ	ιた条件で行っていること	:が確認できる。			
		有害なクラック	が無い。					
		その他(理由:						
)		
		●判断基準						
		評価値が90%以上 評価値が80%以上5 評価値が70%以上5 評価値が60%以上7 評価値が60%未満	90%未満・・・a' 30%未満・・・b 70%未満・・・b'	② 削除項目のある場 た比率(%)計算の値③ 評価値(0.0%)	頁目」のうち、対象とした 場合は削除後の評価項目数 直で評価する。 =該当項目数(0) /評価 『価対象項目数が2項目以	なを母数として計算し		

考査項目	工種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	維持修繕や小規模な付属構造物	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ	工事等	●評価対象項目 二次製品等材料に細心の注意が払われてい。	5 .							
Ⅲ 出来ばえ		きめ細かな施工がなされている。								
		構造物とのすりつけが良い。								
		仕戻し(小口部)が適切に施工されている。								
		公共物としての安全性,環境及び維持管理・	への配慮が良い。							
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d								

(烩杏昌田)

考査項目	工	種	a	a '	h	b '	С	d	e	
	維持修繕工事		a □ 優れている	a □ bより優れている	~	□ cより優れている		□ やや劣ってい		
	工,付属物工,			id= 0.0%	口でで優れている	口 じょり優れている	□ 匠の計画に図目でない		1 39 CV 3	
□未はん		WINEVEST (1)	使用する材料の品きる。	質・形状等が適切であり), かつ現場において材料 c対策を施していることか		っていることが確認で	□ 品質関係の測定方法 測定値が不適切であ ため、監督員が文書 示を行い改善された。	った 測定値が不適切であった で指 ため、検査員が修補指示	
				監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。						
			緊急的な作業にお	いて、迅速かつ適切に対	付応していることが確認て	ごきる。				
			理由:							
			理由:							
			理由:							
			理由:							
			●判断基準							
			該当項目が6項目以上							
			該当項目が5項目・・ 該当項目が4項目・・							
			該当項目が3項目・・	-						
			該当項目が2項目以下	_						
					の他に適宜項目を追加して	て評価するものとする。				
				目は最大8項目とする。	· · · · · · · · · · · · · · · · ·					

考査項目	工種	a	ь	С	d d
3. 出来形及び	維持修繕工事(清掃工,除草	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	工, 付属物工, 応急処理等)	●評価対象項目		•	
		小構造物等にも注意が払われている。			
Ⅲ 出来ばえ		きめ細かな施工がなさている。			
		既設構造物とのすりつけが良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当3項目以上・・・a			
		該当2項目・・・・b			
		該当1項目・・・・c 該当項目なし ・・・d			
		成当項目なし・・・ロ			

考査項目	工 種	a	а,	b	b '	С	d	(検査員用) e
3. 出来形及び	機械設備工事	a □ 優れている	□ bより優れている	-	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価	i值= 0.0%	と整理し品質の確認ができ			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		設備の機能及び性	E能が,承諾図書のとおり	ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示を行った。			
		設計図書の仕様を	と踏まえた詳細設計を行し	、 承諾図書として提出し	ていることが確認できる			
			能に係わる成績書が整理 上質管理項目について、品					
		塗装管理基準の品	h質管理項目について, 占	品質管理書類を整理し品質	の確認ができる。			
		操作制御設備につる。	いて, 操作スイッチや表	長示灯が承諾図書のとおり	配置され、正常に作動す	ることが確認でき		
		操作制御設備の多	で全装置及び保護装置の機	後能・性能確認試験につい	て、試験書類を整理し品	占質の確認ができる。		
		小配管,電気配線	R, 配管が承諾図書のとま	らり敷設していることが確	認できる。			
		設備の取扱説明書	夢を適切に作成しているこ	ことが確認できる。				
		完成図書(取扱説	明書)に部品等の点検及で	が交換方法について,まと	めていることが確認でき	さる。		
		機器の配置につい	いて、点検しやすいことか	ぶ確認できる。				
		設備の構造や機器	界の配置について, 交換場	頂度の高い部品等の交換作	業が容易にできることか	革認できる。		
		二次コンクリート	の配合試験及び試験練り)を実施し、試験成績表に	まとめていることが確認	見できる。		
		バルブ類の平時の)状態を示すラベルなどか	ぶ見やすい状態で表示して	いることが確認できる。			
		計器類に運転時の)適用範囲を見やすく表示	らしていることが確認でき	る。			
		回転部や高温部等	の危険箇所に表示又 は関	5護をしていることが確認	く できる。			
		構造物の劣化状況	2を良く把握して,適切な	x対策を施していることが	確認できる。			
		現地状況を勘案し	, 施工方法等についての)提案を行うなど,積極的	に取り組んでいることか	革認できる。		
		その他(理由:)		
		●判断基準 評価値が90%以上・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・	る未満・・・a' ② る未満・・・b 3 4 未満・・・b' 3	当該「評価対象項目」 削除項目のある場合は た比率(%)計算の値で評 評価値(0.0%)=該当 なお、削除後の評価対 する。	削除後の評価項目数を母 価する。 í項目数 (0) /評価対象	数として計算し 項目数 (20)		

考査項目	工 種	a	Ъ	С	d					
3. 出来形及び	機械設備工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 主設備,関連設備及び操作・制御設備が全	体的に統制されており,運転操作性が良い。							
Ⅲ 出来ばえ		きめ細かな施工がなされている。								
		土木構造物、既設設備等とのすりつけが良	V.,							
		溶接,塗装,組立等にあたって,細部に渡	る配慮がなされている。							
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d								

(檢查員用)

考査項目	工種	a	a '	b	Ъ'	С	d	(検査貝用) e
3. 出来形及び	電気設備工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ			価値= 0.0% 品質や性能の確保に係る技	₹術検討が実施しているこ	とが確認できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		材料・部品の品 とが確認できる。	質照合の結果が品質保証書 。	等(現物照合を含む)て	で確認でき、設計図書の仕	仕様を満足しているこ	例だ値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	例だ値が不適切であった ため、検査員が修補指示 を行った。
		機器の品質,機	能及び性能が設計図書を満	記して,成績書にまとめ	られていることが確認て	できる。		
		操作スイッチや	表示灯が承諾図書のとおり	配置され、操作性に優れ	れていることが確認できる	5 .		
		ケーブル及び配 できる。	管の接続などの作業が,施	江計画書に記載された手	『順に沿って行われ,不』	具合が無いことが確認		
		設備の機能及び	性能が,設計図書の仕様を	·満足していることが確認	忍できる。			
		操作制御関係の が確認できる。	機能及び性能が,設計図書	Fの仕様を満足していると	ともに、必要な安全装置	置及び保護装置の作動		
		設備の総合性能	が,設計図書の仕様を満足	していることが確認でき	さる 。			
		現場条件によっが確認できる。	て機器 (製品)の機能及び	性能が確認できない場合	において,工場試験など	で確認していること		
		設備全体につい が確認できる。	ての取扱説明書を適切に作	■成(修繕(改造・更新含	さむ)の場合は,修正又は	は更新) していること		
		完成図書で定期	的な点検や交換を要する部	『品及び箇所を明示してい	いることが確認きる。			
		設備の構造につ	いて,点検や消耗品の取替	Fえ作業が容易にできるこ	とが確認できる。			
		障害,災害発生 きる。	を想定した代替機能,迂回]などのフェールセーフ機	後能を現地試験等で確認し	していることが確認で		
		設備の耐震設計	について,受注者自らが確	■認,精査したことが確認	思できる。			
		その他(理由:)			
		●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90 評価値が70%以上80 評価値が60%以上70 評価値が60%未満・	9%未満・・・a' ② が 9%未満・・・b が 3 4 (4)	当該「評価対象項目」の 削除項目のある場合は肖 と比率(%)計算の値で評析 評価値(0.0%) = 該当 なお、削除後の評価対象	川除後の評価項目数を母数 面する。 項目数 (0) /評価対象の	数として計算し 頁目数 (15)		

考査項目	工種	a	b	С	d							
3. 出来形及び	電気設備工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている							
出来ばえ		●評価対象項目										
		きめ細やかな施工がなさている。	きめ細やかな施上がなさている。									
Ⅲ 出来ばえ		公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。										
		動作状態において,電気的及び機械的な異	常が無く,総合的な機能及び運用性が良い。									
		ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切]である。									
		操作、保守点検等の容易さを確保するため	の配慮がなされている。									
		全体的な美観が良い。										
		●判断基準										
		該当5項目以上・・・a										
		該当4項目・・・・b										
			該当3項目・・・・・c									
		該当2項目以下・・・d										

考查項目	工 種	a	a '	b	b '	С		d	e
3. 出来形及び	通信設備工事・	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている			 □ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	受変電設備工事等	●評価対象項目 評価	6値= 0.0%	,				品質関係の測定方法又は	□ 品質関係の測定方法又は
T D REF		設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 材料及び構成部品の品質及び形状について,設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認						則定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	
Ⅱ 品質		できる。 材料の品質照合の結果が、品質保証書等(現物照合を含む)で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが							
		確認できる。 設備 機器の品質	f 機能及び性能が 成績	貴等で確認でき,設計図書	の仕様を満足している。	しが確認できる			
		以 /冊 、 1次 付か ノ ロロ テ	具,1灰配火∪1工配力",1久雨	寸く唯恥くら, 欧川凶音	マン 江水で 側だし てくいるこ	ここのが再動してきる。			
		ケーブル及び配管 きる。	党の接続等の作業が,施 コ	計画書に記載された手順	[に沿って行われ,不具合	が無いことが確認で			
		設備全体としての)運転性能が所定の能力を	:満足していることが確認	!できる。				
		完成図書において る。	て、設備の機能並びに性能	E及び操作方法が容易に判	別できる資料を整備して	こいることが確認でき			
		完成図書において,単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。							
		設備全体及び各機	とといて、設計図書に						
		設備全体について	ての取扱説明書を適切に作						
		完成図書で定期的	りな点検や交換を要する音						
			.,,	孝え作業が容易にできるこ					
		障害,災害発生を きる。	≥想定した代替機能,迂回	『などのフェールセーフ機	能を現地試験等で確認し	していることが確認で			
		設備の耐震設計に	こついて,受注者自らが確	崔認,精査したことが確認	できる。				
		その他(理由:)			
		●判断基準 評価値が90%以上・	1 =	当該「評価対象項目」					
		評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70%	%未満・・・b % 未満・・・b	削除項目のある場合は た比率(%)計算の値で評 評価値(0.0%) =該当	価する。 i項目数 (0) /評価対象	項目数 (15)			
		評価値が60%以上70%	(4)	なお,削除後の評価対象 する。	象項目数が2項目以下の	場合はc評価と			
							1		

考査項目	工 種	a	b	С	d						
3. 出来形及び	通信設備工事・	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている						
出来ばえ	受変電設備工事等	●評価対象項目									
		主設備,関連設備等にきめ細やかな施工がされている。									
Ⅲ 出来ばえ		公共物として,安全性の確保,環境及び維持管理等への配慮がなされている。									
		動作状態において,電気的及び機械的な異	常が無く,総合的な機能及び運用性が良い。								
		当該設備及び関連設備が全体的に協調及び	統制され,総合的な性能向上への配慮がなされて	いる。							
		操作,保守点検等の容易さを確保するための	の配慮がなされている。								
		全体的な美観が良い。									
		●判断基準									
		該当5項目以上・・・a									
		該当4項目・・・・b									
		該当3項目・・・・c									
		該当2項目以下・・・d									

(烩杏昌田)

						T		(検査員用)
考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(管布設工, 開削工)	O H 1	H値= 0.0% られている品質管理が実施	□ 品質関係の測定方法又は	□ 品質関係の測定方法又は			
Ⅱ 品質		管材や埋め戻した	材料等が適正であり,写真	真及び品質規格証明書等が	整備されていることが確	認できる。	測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	測定値が不適切であった ため,検査員が修補指示
			こに深く掘削すること無く いることが確認できる。	できる。又、転石が	示を行い改善された。	を行った。		
		仮設工(山留工·	・支保工等) の施工が適り]に行われていることが確	認できる。			
		埋戻し方法が適り	Dで転圧状況が良好である	ことが確認できる。				
		材料の保管管理が	ぶ適切に行われていること	:が確認できる。				
		管内への土砂等侵	浸入防止対策が施されて↓	いることが確認できる。				
		継ぎ手部の接合 いることが確認で	(挿入長・締め付けトルク できる。	・融着手順等)が適正に	行われ,写真,チェック	シート等を整備して		
		切管部が規定どお	おり加工され,離脱防止金	2具等が規定どおり設置さ	れていることが確認でき	る。		
		管明示テープ、オ						
		埋設シートが規定	宮どおり施工されているこ	とが確認できる。				
		他の埋設物等との)離隔が確保されているこ	とが確認できる。				
		弁,栓類が規定と	どおり施工されていること	が確認でき,BOX類も適	刃に施工されている。			
		水圧試験により規	見定の水密性が確保されて					
		路面の仮復旧が日	日々良好に行われているこ					
		その他(理由:)		
		【コンクリートコ	[[の施工がある場合]					
		コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c,最大骨材粒径,塩化物総量,単位水量,アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。						
		コンクリート受け	果が確認できる。					
			5法,打設時の投入高さ, Eめられた条件を満足して					
		その他(理由:)				

(検査員用) 【薬液注入工の施工がある場合】 材料の品質規格証明書が整備されている。 薬液注入圧力と注入量の管理が適正に行われている。 注入材料について搬入量、残数量により使用量の確認ができる。 注入効果の確認ができる。 薬液注入による影響を防止するための水質調査等を適切に行うなど監視体制が確立されている。 その他(理由: 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 「関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 80%以下 80%を超える 判断不可能 50%以下 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し 90%以上 た比率(%)計算の値で評価する。 価 75%以上90%未満 ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (26) 値 60%以上75%未満 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と 60%未満 する。 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

考査項目	工種	a	b	С	d						
3. 出来形及び	上水道工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている						
出来ばえ	(管布設工,開削工)	●評価対象項目管の通りが良い。									
Ⅲ 出来ばえ		弁,栓類及び鉄蓋の傾き,ガタツキが無い。									
		弁,栓類の操作,維持管理に支障が無い。									
		舗装の平坦性が良く、マンホール蓋等への	すりつけが良い。								
		全体的な美観が良い。									
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d									

考査項目	工 種	a	a'	Ъ	Ъ'	С	d	е			
3. 出来形及び	下水道工事 (開削工)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている			
出来ばえ		る。	II	適正で,写真や品質規格 が確認できる	証明書等が整備され,規	格,品質が確認でき	測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった たた、検査員が修補指示			
Ⅱ 品質					却でもフ		示を行い改善された。	を行った。			
				に行われていることが確							
				,施工基面が均一に施工	されていることが確認で	きる。					
		基礎砂及び中詰砂が適正な施工が行われていることが確認できる。									
		埋め戻し方法が適切で転圧状況が良好であることが確認できる。									
		管渠の接合(挿入	長・接合材料・接合手順	[等) が適正に行われてい	ることが確認できる。						
		管の通りが良く,	水溜りが無いことが確認	いできる。							
		取付管施工におい	て, 適正な施工が行われ	ていることが確認できる	0						
		インバートが適切	に施工されている。								
		マンホールの施工	(組立接合・ステップ・	副管・蓋等) が適切に行	われていることが確認で	きる。					
		路面の仮復旧が日	々良好に行われているこ	とが確認できる。							
		その他(理由:)					
		【薬液注入工の施	工がある場合】								
		材料の品質規格証	明書が整備されているこ	とが確認できる。							
		薬液注入(圧力,	注入量、ゲルタイム、比	:重,注入時間等)の管理	が適正に行われているこ	とが確認できる。					
		注入材料について	搬入量,残数量により使	五年(入荷・空袋・空缶の	確認)の確認ができる。						
		注入効果の確認(ご	フェノールフタレイン反応	芯や土質試験等)が行われ	ていることが確認できる	0					
		薬液注入による影 いることが確認で		調査について,位置・時	期・方法を協議の上,監	視体制が確立されて					
		その他 (理由:									
)					
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価の の他設計図書に定められた		斯基準参照 >					
		●判断基準	げとへキで和問	ま可能 げとへきつ	Г	① 当該「評価対象項目	 	†削除する			
		近らつきで判断可能 ばらつきで									
		<u>60%未満</u> 注 試験結果の打点数等が少	b'c なくばらつきの判断ができ	c c c c ない場合は評価対象項目(記)	L 平価値)だけで判断する。	する。					

考査項目	工種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	下水道工事 (開削工)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 管渠の通りが良く、水溜まりが無い。								
Ⅲ 出来ばえ 管渠内の清掃状況が良好である。										
		マンホールと管渠の接続部の仕上げが良い。								
		インバートの仕上げが良い。	インバートの仕上げが良い。							
		マンホール内の仕上げが良く、漏水及び侵入水が無い。								
		マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していな	マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない。							
		マンホール天端と路面とのすりつけが良い	· ·							
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当7項目以上・・・a 該当6項目・・・・ b 該当5項目・・・・ c 該当4項目以下・・・ d								

(烩杏昌田)

***			,				T	(検査員用)
考査項目	工 種	a	a '	b	b '	c	d	e
3. 出来形及び	上下水道工事 (推進工・シールド工)	□ 優れている■ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(推進工・フェルト工)	【共通】	値= 0.0% **********************************	ぶ適正で、写直や品質規模	A証明書等が整備され、規	4格. 品質が確認でき	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		る。		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	ため,検査員が修補指示 を行った。
			合試験及び試験練りを行 、アルカリ骨材反応抑制	/	トの品質(強度・w/c,上	東 天宵材 私 往 ,		
		コンクリート受け	入れ時に、温度、スラン	果が確認できる。				
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供試	は体が、当該現場の供試体	本であることが確認できる	0.0		
					り機種及び養生方法が,施 (寒中及び暑中コンクリ			
		コンクリートの圧 できる。	縮強度を管理し、必要な	強度に達した後に型枠及	っていることが確認			
		コンクリート打設	まで錆・どろ・油等の有	「害物が鉄筋に付着しない	確認できる。			
		鉄筋の組立及び加	工が,設計図書の仕様を	満足していることが確認				
		掘削面を必要以上 立坑等水中掘削を		地盤を乱さず適正に管理	里されていることが確認で	ぎきる。(ケーシング		
		10 - 10 - 1	ーシング・ライナープレ ていることが確認できる		施工計画との整合,地山。	との隙間処理〔裏込		
		使用機器の較正((キャリブレーション) が	定期的に行われているこ	ことが確認できる。			
		掘削土量と推進量	:のバランスが適切である	ことが確認できる。				
		管渠の基準高,水	平変位が日々管理されて	おり、異常値が無いこと	こが確認できる。			
		スペーサーの寸法	, 品質及び個数が, 設計	・図書の仕様を満足してい	いることが確認できる。			
		スペーサーを適切	に配置し,鉄筋の被りを	確保している。				
		裏込め注入材が適	i正であり,適切な配合の	もと、計画注入量、注フ	、 圧等を管理していること	が確認できる。		
		掘進路線上に沈下 る。	測定点を設け,一定期間	」(掘進前,中,後)定其	閉的に計測し、沈下が無い	ことを確認してい		
		漏水防止工が適切	に行われていることが確	認できる。				
		埋め戻し方法が適	i切で転圧状況が良好であ	ることが確認できる。				
		マンホールの施工	. (組立接合・ステップ・	副管・蓋等)が適切に行		ぎきる。		
		インバートが適切	Iに施工されていることが	確認できる。				
		その他(理由:)		

(検査員用)

【推進工】

鋼製及びSUSカラー,ゴム輪等の継ぎ手材料が適正で,かつ適切に施工されていることが確認できる。(TVカメラ調査結果も含む。)

管材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。

止水器が適切に設置されていることが確認できる。

推進機の機能が土質に適合し、推進力のチェック等が行われており、かつ安全であることが確認できる。

推進滑材・掘削添加材の材料及び数量が適正であることが確認できる。

管渠の接合(挿入長・接合材料・接合手順等)が適正に行われていることが確認できる。

鞘管方式の場合,本管据付に係るスペーサーの配置等が適正であり、中込材が適切な配合のもと完全に充填されたことが確認できる。

その他(理由:

【シールド工】

セグメントの規格、品質等が品質証明書(検査証明書)で確認できる。

立坑基礎地盤面の地耐力試験が行われており、管理が適正に行われていることが確認できる。

シールド機の機能が土質や施工条件に適合し、かつ掘進力のチェックなどが行われており、安全であることが確認できる。

一次覆工時におけるシール材の貼付、セグメントの組み立てが適切に行われていることが確認できる。

二次覆工時における型枠(セントル)の組み立てが適切に行われていることが確認できる。

その他(理由:

【薬液注入工の施工がある場合】

材料の品質規格証明書が整備されていることが確認できる。

薬液注入(圧力,注入量,ゲルタイム,比重,注入時間等)の管理が適正に行われていることが確認できる。

注入材料について搬入量、残数量により使用量(入荷・空袋・空缶確認)の確認ができる。

注入効果の確認(フェノールフタレイン反応や土質試験等)が行われていることが確認できる。

薬液注入による影響を防止するための水質調査について、位置・時期・方法を協議の上、監視体制が確立されていることが確認できる。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評	90%以上	a	a'	b	b
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	С	С	С

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (42)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。
- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

考査項目	工 種	a	b	С	d d				
3. 出来形及び	上下水道工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	(推進工・シールド工)	●評価対象項目							
		漏水が無い。							
Ⅲ 出来ばえ		管の通りが良い。							
		マンホールに破損、クラックが無い。							
		マンホール天端と路面のすりつけが良い。							
		マンホール内の仕上げが良い。							
		インバートの仕上げが良い。							
		マンホール蓋に汚れ、錆等が付着していない	١,						
		全体的な美観が良い。							
		※推進工事又はシールド工事と同時施工の場	易合,総合的に判断する。						
		●判断基準							
		該当7項目以上・・・a							
		該当6項目・・・・b							
		該当5項目・・・・c							
		該当4項目以下・・・d							

考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	下水道工事(圧送管)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		材料の品質が、証	値= 0.0% 明書類で確認できる。 施工が確認できる。				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質				** コレナトマルファ しょ	かきしてもって		ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示 を行った。
				ぶ適切にされていることが	惟祕でさる。		7.611. 96664006	511 > 100
			等の異物が無いことが確					
		路床及び路盤工の	プルーフローリングを行	fっていることが確認でき	る。			
		吊り込み時、据付	時等, 二次製品の品質に					
		管切断が直角であ	り切断面の処理が適正に	二行われていることが確認				
		挿入標線の確認,	融着及び冷却が適正に行	行われている。				
		融着完了の確認が	なされている。					
		薬液注入材が適正	であり適切に注入された	ことが確認できる。				
		アスファルト混合 る。	物の温度管理を,現場到	着時,初期締固め前及び	ることが確認でき			
		水圧試験,真空試	験等が適切に行われてい	いることが確認できる。				
		X線による試験を行	「った場合の異常が無い。					
		配管接合作業が継	手チェックリストにより	適切に管理されている。				
		その他(理由:						
)		
			工事施工管理基準, その	象項目の履行状況(評価値 の他設計図書に定められた		斯基準参照 >		
		●判断基準	ばらつきで判	断可能 ばらつきで	1) 当該「評価対象項目」	のうち、対象としない項目は	削除する。
		評 90%以上 75%以上90%才 値 60%以上75%才 60%未満	50%以下 80%以下 a a' k満 a' b k満 b'	80%を超える 判断不可能 b b b c c c c c c c		削除項目のある場合に た比率(%)計算の値で診 評価値(0.0%)=該	は削除後の評価項目数を母数と	して計算し 数 (15)
		注 試験結果の打点数等が少			面値)だけで判断する。	/ w 0		

考査項目	工種	a	b	С	d
3. 出来形及び	下水道工事 (圧送管)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 管の通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ		弁栓類や鉄蓋類の据え付けが良い。			
		マンホールの管口の接続が良い。			
		舗装の端部処理が良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d			

考査項目	工 種		a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び	下水道工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質	(マンホール修繕工・改築工	匚)	アンカーの削孔深無収縮モルタルの	値= 0.0% さは、承諾図書のとおり 配合は、施工計画書のと がの配合は、施工計画書のと	おり行われていることが	確認できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため,監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
			無収縮モルタルの)硬化後に,アスファルト	・補修の施上が行われてい	ることが確認できる。			
			無収縮モルタル, きる。	アスファルト補修材の配	合時及び施工時の天候・	温度管理記録が整理され	ていることが確認で		
			無収縮モルタル,	アスファルト補修材が所	「定強度を満たしているこ	.とが確認できる。			
			アスファルト補修	が材の材料が均等に混ざり	,部分的な施工不良が生	じていないことが確認で	きる。		
			使用材料の空缶・	空袋管理が写真等で確認	いできる。				
			掘削土砂が,マン	ホール内に崩落しない措					
			その他(理由:)		
50%以下 80%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ② 削除項目のあるた比率(%)計算のためでは、 評 90%以上 a a' b b (%)計算のあるでは、 た比率(%)計算のあるでは、 (%)計算のあるでは、 ないまでは、 (%)計算のでは、 ないまで							 当該「評価対象項 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値 評価値(0.0%) なお,削除後の評 	頁目」のうち、対象としない項 場合は削除後の評価項目数を母 直で評価する。 =該当項目数(0) /評価対象: 平価対象項目数が2項目以下の	数として計算し 項目数 (10)

考査項目	工種	a	b	С	d						
3. 出来形及び	下水道工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている						
出来ばえ	(マンホール修繕工・改築工)	●評価対象項目 マンホール内に落下した土砂・コンクリート殻等が適切に撤去されている。									
Ⅲ 出来ばえ		マンホール内・蓋の清掃が行われている。									
		マンホール蓋のがたつきが無い。									
		既設舗装及びマンホール蓋等への舗装すり	既設舗装及びマンホール蓋等への舗装すりつけが良い。								
		全体的な美観が良い。									
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d									

考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	上下水道工事(管渠更生工)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		既設管の劣化状況	i値= 0.0% 2を事前調査し,事前処理 i正に管理し,データシー		が確認できる。	、光硬化、熱形成】	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	
Ⅱ 品質		1311373 3222		,	THE TE SE STATE	, 720x12, 7110079 x2	にめ、監督員が又書で指 示を行い改善された。	ため、快宜貝が修備指小 を行った。
		硬化時に圧力,温 化,光硬化】	l度,時間,電源を適正に	だ管理し,データシート等	※を整備していることが確	認できる。【熱硬		
		反転時, 拡径時に	圧力を適正に管理し,テ	ータシート等を整備して	いることが確認できる。	【熱硬化,光硬化】		
		冷却養生時に温度 光硬化,熱形成】	, 時間, 圧力を適正に管	理し、データシート等を	・整備していることが確認	なできる。【熱硬化,		
		蒸気加熱時に圧力	7,温度,時間を適正に管	理し、データシート等を	・整備していることが確認	2できる。【熱形成】		
		拡径及び冷却時の)圧力,時間を適正に管理	!し,データシート等を整	を備していることが確認で	きる【熱形成】		
		かん合継手部分の)状態を管理し、適正に施	江していることが確認で	きる。【製管】			
		充填材(裏込材) る。【製管】	の性状,注入圧力,注入	量等を適正に管理し,デ	ータシート等を整備して	いることが確認でき		
		材料の端部や接合	部の処理,強度,水密性	が適切である。				
		現場試験片及びテ	ストピースにより,硬化	確認ができる。				
		材料の品質が証明]書等で確認できる。					
		材料が適正に保管	されていることが確認で	きる。				
		使用材料の空袋・	空缶が写真及び伝票等で	確認できる。				
		耐震性能が証明書	等で確認できる。					
		その他(理由:				,		
)		
		H GGBB 67 - 35 FA			and the second s	for did NG A FIT		
		[関連基準, 土木	結果のはらつきと評価対1 :工事施工管理基準, その 断は別紙-4参照。	*******	直)から判断する。<判 試験]	斯基準参照 >		
		Ned Mor +++ Sife						
		●判断基準	ばらつきで*	判断可能 ばらつき	С	① 当該「評価対象	 	 百月は削除する。
				下 80%を超える 判断不可能b b	能	② 削除項目のある	場合は削除後の評価項目数を	
		価 75%以上90%	《未満 a' b	b' b'		た比率(%)計算の ③ 評価値 (0.0%))値で評価する。) =該当項目数 (0) /評価対1	象項目数 (16)
		値 60%以上75% 60%未済		<u>с</u> <u>с</u>	-	④ なお,削除後のする。)評価対象項目数が2項目以下の	の場合は c 評価と
			少なくばらつきの判断ができ		価値)だけで判断する。	<u> </u>		

(檢查員用)

					(快宜貝用)
考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	下水道工事(管渠更生工)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0%			
		内面仕上げの状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		マンホール管口処理の状態が良い。			
		取付け管口処理の状態が良い。			
		継手と更生管とのすりつけ状態が良い。			
		かん合の状態が良い。			
		マンホール周辺の清掃等が実施されている。			
		管渠の通りが良く、水溜りが無い。			
		しわの発生が無い。(既設管の形状に起因す	トる場合を除く。)		
		既設の管・マンホールと更生部材との隙間充	で填が良好である。		
		管やマンホール内の仕上げが良く漏水が無V	\ ₀		
		ステップの設置状況・通りが良い。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		評価値が85%以上・・・・・a			
		評価値が70%以上85%未満・・・b			
		評価値が45%以上70%未満・・・c			
		評価値が45%未満・・・・・d			

考査項目	エ	種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	水管橋工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ				値= 0.0% 質を証明する書類又は現	1物により照合しているこ	とが確認できる。		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質			溶接作業にあたり	,溶接工の技量確認を行	Fっていることが確認でき	:る。		ため,監督員が文書で指	
			鋼材のボルト締め	付け確認が実施され,記	2録を保管していることが	確認できる。		示を行い改善された。	を行った。
			鋼材の溶接管理,	塗装管理が規定どおり実	E施され,内容が確認でき	, 欠陥なく満足している	0		
			素地調整の場合,	第1種ケレン後4時間以内	1に金属前処理塗装を実施	互していることが確認でき	る。		
			塗料の空缶管理に	ついて, 写真等で確実に	空であることが確認でき	:る。			
			現場塗装において	, 温度, 湿度, 風速等の)確認を行っていることが	確認できる。			
			その他(理由:)		
			【コンクリート工	の施工がある場合】					
				合試験及び試験練りを行 ,アルカリ骨材反応抑制		の品質(強度・w/c, i	最大骨材粒径,塩化		
			コンクリート受け	入れ時に必要な試験を実	延施しており,温度,スラ	果が確認できる。			
			圧縮強度試験に使	用したコンクリート供詞	は体が,当該現場の供試体	lo .			
				件に適した運搬時間,打 (寒中及び暑中コンクリ		め方法が,定められた条	件を満足しているこ		
			コンクリートの圧 できる。	縮強度を管理し、必要な	・強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	っていることが確認		
			鉄筋の品質を, 適 ることが確認でき		確認できるとともに , 維	1立及び加工が,設計図書	の仕様を満足してい		
			その他(理由:)		
			[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価 D他設計図書に定められた	値)から判断する。<判 : 試験]	斯基準参照>		
			●判断基準	ばらつきで判	新可能 ばらつきで	1	① 当該「評価対象項	 	日は削除する
			Time						
			注 試験結果の打点数等が少	なくばらつきの判断ができた	よい場合は評価対象項目(評価	5値)だけで判断する。			

考査項目	工	種	a	b	c	d
3. 出来形及び	水管橋工事		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ			●評価対象項目 表面に傷, 錆, 補修個所が無い。			
Ⅲ 出来ばえ			弁, 栓類の傾き, がたつきが無い。			
			溶接,塗装,組立の均一性が良い。			
			コンクリート構造物の肌が良い。			
			クラックが無く, 天端仕上げ, 端部仕上げた	が良い。		
			溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る	る配慮がなされている。		
			全体的な美観が良い。			
			●判断基準 該当6項目以上・・・a 該当5項目・・・・b 該当4項目・・・・c 該当3項目以下・・・d			

考査項目	エ	種	a	a '	b	b '	С		d	е
3. 出来形及び	管水路工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ			材料の品質規定証	値= 0.0% 明書が整備されている。					「関係の測定方法又は で値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質			材料の保管管理が	適切であることが確認て	ぎきる。), 監督員が文書で指	
			床堀の幅,深さ,	勾配等が適切である。				示を	:行い改善された。	を行った。
			施工基面が平滑に	仕上げられている。						
			すきまゲージ等に	より、管等の据付が適切]であることが確認できる) ₀				
			ボルトの締付け確	認が実施され, 記録が鏨	発備されている。					
			切管の端部処理(面取り、塗装等)が適切	に行われている。					
			弁類,弁室が適切	弁類,弁室が適切に据え付けられている。						
			管路敷設完了後,	管路敷設完了後,速やかに埋戻しを実施されていることが確認できる。						
			基礎砂等の土質が	適切で,埋戻し,転圧状						
			埋設表示シートが	埋設表示シートが適切に設置してあることが確認できる。						
			独自に通水試験等	を実施し、漏水の恐れが	ぶないことを確認している) _o				
			舗装切断が適切に	行われている。						
			路面(舗装含む)	の復旧が適切に行われて	いる。					
			その他(理由:							
)			
						値)から判断する。<判断	斯基準参照>			
			[関連基準, 土木 ※ばらつきの判		他設計図書に定められた	[試験]				
							_			
			●判断基準	ばらつきで判	断可能 ばらつきて	<u>ৰ</u>	① 当該「評価対象」	┃ 冝目 の ²	うち,対象としない項	日け削除する
			77 0 00/01/1	50%以下 80%以下	80%を超える 判断不可能		② 削除項目のあるな	場合は削り	徐後の評価項目数を母	
			評						「る。 目数(0)/評価対象:	項目数 (8)
			値 60%以上75%		ССС	-	④ なお,削除後の			
			60%未満 60%+表述 6		cc きない場合は評価対象項目	」 (評価値)だけで判断する。	する。			

考査項目	工 種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	管水路工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ	(施設のとおり等)の良さが伺える。							
Ⅲ 出来ばえ		構造物・施設の表面に、傷・錆等がない。								
		きめ細やかな施工がなされている。								
		舗装復旧の状況が良い。								
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・ b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d								

考査項目	工 種	а	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	函渠工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ			盤の強度確認を行ってV	_	の品質(強度・w/c, 』	最大骨材粒径 塩化	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示
Ⅱ 品質			,アルカリ骨材反応抑制		VIII Д (ЛД/Д W/ С, У	(X)(1) (1) (1) (1) (1)	示を行い改善された。	を行った。
		コンクリート受け	入れ時に、温度、スラン	/プ,空気量等必要な試験	きを実施しており、測定結	果が確認できる。		
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供記	ば体が,当該現場の供試体	であることが確認できる	0		
					機種及び養生方法が,施 (寒中及び暑中コンクリ			
		コンクリートの日 できる。	縮強度を管理し、必要な	₹強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	っていることが確認		
		コンクリートの打	設前に, 打継ぎ目処理を	と適切に行っていることが	確認できる。			
		コンクリートの狙	潤養生等の管理が適切に	こ行われていることが確認				
		鉄筋の品質を、道	切に管理していることか	ぶ確認できる。				
		コンクリート打割	まで錆・どろ・油等の有	す害物が,鉄筋に付着しな	が確認できる。			
		鉄筋の組立及び加	工が,設計図書の仕様を	と満足していることが確認				
		圧接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	_{了っていることが確認でき}				
		スペーサーの寸法	, 品質及び個数が, 設計	↑図書の仕様を満足して√	ることが確認できる。			
		二次製品の品質が	品質証明書等で確認でき	きる。				
		二次製品が適切に	保管されていることが確	笙認できる。				
		吊り込みや据付時	等, 二次製品の品質に影	/響無く,適切に施工して	いることが確認できる。			
		縦締めPC鋼棒の	緊張力の確認を行って、	グラウト注入を施工して	いることが確認できる。			
		継ぎ目部の目地が	適切に施工されているこ	ことが確認できる。				
		呑み口, 吐け口,	集水桝等の取付けコンク	リートが適切に施工され	ている。			
		有害なクラックカ	無い。					
		その他(理由:)		
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価の の他設計図書に定められた	直)から判断する。<判 試験]	斯基準参照 >		
		●判断基準	だとった rotal	NC 可名 が は こっさっ	1	① 业款「莎年早年	百日」のふた「計角ししおい石	日は削除する
			ばらつきで判 50%以下 80%以下			② 削除項目のある場	頁目」のうち,対象としない項 場合は削除後の評価項目数を母	
		評 90%以上 価 75%以上90%		た比率(%)計算の値	直で評価する。 =該当項目数 (0) /評価対象	項日粉 (21)		
		値 60%以上75%	·満 b b'	b' b' c	1	④ なお,削除後の記	平価対象項目数が2項目以下の	
		60%未満 注 試験結果の打点数等が少			」 5値)だけで判断する。	する。		
		- WANTESTE STATES AND A THE STATES AND A STA	2 1 100 2 1 2 10 19 1W CC	- 20 H 100 H 100 100 100 H 100 H				

考査項目	工	種	a	b	С	d d
3. 出来形及び	函渠工事		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ			●評価対象項目 評価値=0.0% 構造物の通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ			材料の連結・かみ合わせが良い。			
			天端及び端部の仕上げ等が良い。			
			クラックが無い。			
			舗装の平坦性が良い。			
			全体的な美観が良い。			
			●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・ b 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・ d			

考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	二次製品構造物工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質		【共通】	値= 0.0% 明書が整備されている。				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	
		施工基面が平滑に	仕上られている。				7 3,17 312 2 111.23	
		施工基面の床堀が る。	適切に行われ,必要以上	とに深く掘削する等,基面	iを乱すことなく施工して	いることが確認でき		
		裏込め材,胴込め	コンクリートの充填・綺	f固めが充分で空隙が生じ	ていない。			
		材料のかみ合わせ	又は,連結が適切で,裏	込め材の吸出しの恐れが	ない。			
		ブロック工の端部						
		支持地盤の確認が	できる資料がある。					
		緊張等の管理がな	されている。					
		遮水シートが所定	の幅で重ね合わせられ、	端部処理が適切である。				
		ブロック(環境・	緑化)の壁体重量が確認	3できる。				
		有害なクラックが	無い。					
		その他(理由:						
			工事施工管理基準, その	象項目の履行状況(評価()他設計図書に定められた	-,	斯基準参照 >		
		●判断基準	┃ 目」のうち,対象としない項目 合は削除後の評価項目数を母数					
							で評価する。 該当項目数(0)/評価対象項 価対象項目数が2項目以下の場	
		注 試験結果の打点数等が少			』 h値)だけで判断する。			

考査項目	工 種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	二次製品構造物工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 二次製品等材料に細心の注意が払われてい	<u> 5.</u>							
Ⅲ 出来ばえ		通りが良い。								
		材料のかみ合わせが良い。または,クラックが無い。								
		天端、端部の仕上が良い。								
		既設構造物とのすりつけが良い。								
		きめ細かな施工がなされている。								
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・b 該当3項目・・・・c 該当2項目以下・・・d								

(檢查員用)

考查項目	工 種	a	a '	b	b '	С		d	e
3. 出来形及び	補強土壁工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(テールアルメエ法等)	_ 547 - 5	值= 0.0%				測定	「関係の測定方法又は で値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		材料の品質規格証	明書が整備されている。				ため、監督員が文書で指示を行い改善された。		ため、検査員が修補指示 を行った。
		施工基面が平滑に	仕上げられている。						
		施工基面の床掘りが適切に行われ、必要以上に深く掘削するなど基面を乱すことなく施工していることが確認できる。							
		地下排水工が施工時の湧水処理を含めて適切で、補強領域内に影響のないように施工してある。							
		材料のかみ合わせ又は,連結が適切で,透水防砂材が設置されており,裏込め材の吸出しの恐れが無い。							
ブロック工の基礎部、端部や隅角部・曲線部の処理が適切である。									
		支持地盤の確認で	きる資料がある。						
		材料の保管管理が	適切に行われていること	が確認できる。					
		補強材が適性に配置されているのが確認できる。 盛土材料の締固め管理が適正に行われており、締固め度が確認できる資料がある。							
		その他(理由:)			
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価) の他設計図書に定められた	値)から判断する。<判1 と試験]	斯基準参照 >			
		●判断基準 評 90%以上 75%以上90%末 値 60%以上75%末 60%未満 注 試験結果の打点数等が少	c満 a' b c満 b' c	80%を超える 判断不可能 b b b b b c c c c c		② 削除項目の た比率(%)記 ③ 評価値(0	○ある場合 +算の値で .0%) = i	『評価する。 該当項目数 (0) /評	数を母数として計算し

考査項目	工 種	a	b	c	d				
3. 出来形及び	補強土壁工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	(テールアルメ工法等)	●評価対象項目 評価値=0.0% 二次製品等材料に細心の注意が払われている。							
Ⅲ 出来ばえ		通りが良い。							
		材料のかみ合わせが良い。または、クラックが無い。							
	天端、端部の仕上げ等が良い。								
		既設構造物とのすりつけが良い。							
		きめ細かな施工がなされている。							
		●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・ b 該当3項目・・・・ c 該当2項目以下・・・ d							

考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С		d	е
3. 出来形及び	補強土壁工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	(ジオテキスタイル)	●評価対象項目 評価 盛土材料の土質が	値= 0.0% 適正である。					「関係の測定方法又は で値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		材料の品質規格証	明書が整備されている。					に	0.47 = 12 - 1 - 1 - 2 - 1 - 1
		施工基面の床掘り きる。	が適切に行われ、必要り	(上に深く掘削するなど基	面を乱すことなく施工し	ていることが確認で	示を	行い改善された。	を行った。
		支持地盤の確認で	きる資料がある。						
		施工面が平滑に仕	上げられている。						
		補強材が適性に配	置されているのが確認て	ぎきる。					
		ジオグリッドの曲	線部の処理が適切である						
		盛土材料の締固め	管理が適正に行われてお	3り、締固め度が確認でき	る資料がある。				
		盛土材料毎の含水	比が管理値を満足してレ	ることが確認できる。					
		雨水による品質低	下が起こらないように,	降雨対策,排水対策を実	薬施していることが確認で	·きる。			
		フィルター工,ド	レーン工等の施行が適正	Eに行われていることが確	認できる。				
		のり面が植生工の	場合,のり面より最低 2	0 cmは良質土としている) ₀				
		その他(理由:)			
						,			
			工事施工管理基準, その	象項目の履行状況(評価) 他設計図書に定められた	値)から判断する。<判 試験]	斯基準参照>			
		●判断基準 評 90%以上 75%以上90%対 値 60%以上75%対 60%末満 注 試験結果の打点数等が少	表満 b b' b' c	80%を超える 判断不可能	3) 当該「評価対象項目」)削除項目のある場合に た比率(%)計算の値でき)評価値 (0.0%) =該)なお、削除後の評価ダ する。	t削除後の 呼価する。 当項目数	評価項目数を母数と(0) /評価対象項目	して計算し 数 (13)

考査項目	工 種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	補強土壁工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	(ジオテキスタイル)	●評価対象項目 評価値=0.0% 材料に細心の注意が払われている。							
Ⅲ 出来ばえ		通りが良い。 材料のかみ合わせが良い。または クラックが無い。							
		天端,端部の仕上げ等が良い。							
		既設構造物とのすりつけが良い。							
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・a 評価値が60%以上80%未満・・・b 評価値が40%以上60%未満・・・c 評価値が40%未満・・・・・・d							

(烩杏昌田)

								(
考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	解体工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	解体工事	□ 優れている ●評価対象項目 評価 工事写真,施工記 解体機械が転倒し 解体作業手順が施 振動,騒音,埃及 解体状況が良いこ 分別,再資源化状 マニフェストの整		□ 他の評価に該当しない とが確認できる。	□ やや劣っている □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	_		
		●判断基準 評価値が90%以上・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・	6未満・・・a' ② ② (2) (6未満・・・b (3) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	削除項目のある場合は削 上比率(%)計算の値で評価 評価値(0.0%)=該当	つうち,対象としない項目 削除後の評価項目数を母数 面する。 項目数 (0) /評価対象項 東項目数が2項目以下の場	なとして計算し [目数 (9)		

					(1大旦只/11)				
考査項目	工 種	a	b	c	d				
3. 出来形及び	解体工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 隣接する住居等に配慮し,周辺施設に破損	が無い,又は補修対応している。						
Ⅲ 出来ばえ		解体後の敷地が良好で、雨水排水等にきめ	細かな配慮がなされている。						
		解体後の残存物が無く、解体後の状態が良好である。							
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d							

考査項目	工	種	a	a'	b	b '	С	d	e
3. 出来形及び	仮設工工事		□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質			仮設材にそり, ゆ 仮設材の組立・設 周辺環境(騒音・ 施工記録等により 排水を考慮し, 良 その他(理由: 品質関係の試験 [関連基準, 土木	置が確実になされ、から 振動・地盤変動等)に 設計条件に適合した根ク 好な床付け面を確保して	己慮した施工方法で実施 人れ長で施工されている こいる。 象項目の履行状況 (評	ることが確認できる。) 断基準参照 >	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった
			9 17771 121	ばらつきで判	断可能 ばらつ:	きで	 当該「評価対象」 	▲ 頁目」のうち,対象としない項	L 目は削除する。
			15mt//01 I	50%以下 80%以一	下 80%を超える 判断不	T能	② 削除項目のある場	場合は削除後の評価項目数を母	
			評 90%以上 価 75%以上90%	a a´ ≓満 a' b	b b	_	た比率(%)計算の値		FE [] \(\frac{1}{2}\)
			值 60%以上75% 対		с с			=該当項目数(0)/評価対象 評価対象項目数が2項目以下の	
			60%未満	b' c	с с		する。		
			注 試験結果の打点数等が少	なくばらつきの判断ができ	ない場合は評価対象項目	評価値)だけで判断する。			

考査項目	工	種	a	b	С	d
3. 出来形及び	仮設工工事		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ			●評価対象項目 評価値=0.0% 鋼矢板・親杭の通りが良い。			
Ⅲ 出来ばえ			覆工板にガタツキが無い。			
			鋼矢板のかみ合わせ等不良部分が無い。			
			床付け面の仕上げが良い。			
			全体的な美観が良い。			
			●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・ b 該当2項目・・・・ c 該当1項目以下・・・ d			

考査項目	Т Т	種	a	a '	b	b '	С		d	(快 <u></u> 具)(円)
3. 出来形及び	鋼矢板打込	(耐震対策) 工事	и	□ bより優れている	· ·	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	П	やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		(114)20/4/17	●評価対象項目 評価	值= 0.0%	満足していることが確認				関係の測定方法又は直が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質			導材を設置し、鋼気	天板のぶれ,よじれ,倒れる	していることが確認でき を防止していることが確	認できる。		ため,	直が不適切であった 監督員が文書で指 行い改善された。	
			ウォータージェッ	矢板の打ち込みに際して,隣接矢板が共下がりしていないことが確認できる。 ウォータージェット併用工法の場合,打ち止めを併用機械で貫入させ,落ち着かせていることが確認できる。 鋼矢板を変形がないよう運搬、保管していることが確認できる。						
				の空洞を砂等で充填し, あたり,隙間が生じない						
			その他(理由:)			
			●判断基準 評価値が90%以上・・ 評価値が80%以上90% 評価値が70%以上80% 評価値が60%以上70% 評価値が60%未満・・	た た た た た た た に ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	削除項目のある場合は た比率(%)計算の値で評 評価値(0.0%)=該計	のうち、対象としない項 削除後の評価項目数を母 価する。 当項目数(0) /評価対象 象項目数が2項目以下の	数として計算し 項目数 (9)			

考査項目	工種	a	b	С	d
3. 出来形及び	鋼矢板打込(耐震対策)工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 土工関係の仕上げが良い。			
Ⅲ 出来ばえ		通りが良い。			
		施工管理記録等から,不可視部分の出来は	ばえの良さがうかがえる。		
		細部まできめ細やかな施工がされている。			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d			

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	c	d	е
5. 四水///X U	地盤改良工事(ペーパードレーン, サンド ドレーン, サンドコンパクション, 深層混合処	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	理)	●評価対象項目 評価 【共 通】	値= 0.0%				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		7.7.7 (7.7.7.3.2.1)	全に十分注意して施工し				ため、監督員が文書で指示を行い改善された。	
		既設構造物に影響	の無いよう十分検討して	施工されていることが確	認できる。		かを11い以音された。	を11つた。
		航行船舶に影響の	無いよう十分検討して施	工されていることが確認	いできる。			
		材料等の品質に異	常値が想定される場合,	品質確認に必要な試験等	が行われていることが確	認できる。		
		気象・海象を十分	調査して施工されている	ことが確認できる。				
		設計図書に定めら	れた施工上の注意事項が	守られていることが確認	いできる。			
		作業船が十分管理	下におかれ、統率されて	いることが確認できる。				
		その他(理由:)		
		【地盤改良関係】						
		ている。	録が整理され、品質管理 いよう置換材を投入して		が記録で確認でき,設計	図書の使用を満足し		
					S- 18-3 (18 + 3 (1) 28	(本体) よー様と下		
			存石ドレーン、ザンドコ れていることが打込記録		^{ドロッドコンパクションが}	理続した一様な形		
					とが打込記録等により確 持されていることが確認			
		深層混合処理の打	込記録等から, 設計図書	に定められている事項が	確認できる。			
		前記以外の改良工	法について, 記録から設	計図書に定められている	事項が確認できる。			
		盛上り土の状況確	認及び管理を適切に行っ	ていることが記録で確認	!できる。			
		その他(理由:				,		
)		
		[関連基準, 土木	吉果のばらつきと評価対象 工事施工管理基準,その 所は別紙-4参照。		直)から判断する。<判断 試験]	所基準参照 >		
		●判断基準			-			
		評 90%以上 価 75%以上90%才 値 60%以上75%才 60%失末満		80%を超える 判断不可能		② 削除項目のあ た比率(%)計算 ③ 評価値(0.0%	象項目」のうち、対象としない る場合は削除後の評価項目数を の値で評価する。 6) =該当項目数(0) /評価対 の評価対象項目数が2項目以下	母数として計算し 象項目数 (16)
		注 試験結果の打点数等が少		【 c c c c c c c c c c c c c c c c c c c	】 面値)だけで判断する。	L y So		

考査項目	工種	0	h	0	d.					
		は 一	りのか何トインフ	C C	u u					
3. 出来形及び	地盤改良工事(ペーパードレーン, サンド ドレーン, サン ドコンパクション, 深層混合処	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ	理)	●評価対象項目 評価値=0.0%								
		規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。								
Ⅲ 出来ばえ	施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。									
		施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。								
		浚渫及び盛り上り等の土砂が適切に処理されている。								
		●判断基準								
		該当3項目以上・・・a								
		該当2項目・・・・b								
		該当1項目・・・・c								
		該当項目なし ・・・d								

考査項目	工種	a	a '	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び	ほ場整備工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価 【整地工】	值= 0.0%				 □ 品質関係の測定方法又は	□ 品質関係の測定方法又は
			的どおり施工されたこと	が強靭ベキス			測定値が不適切であった	測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		法面に有害な亀裂		が推酌できる。			ため、監督員が文書で指	ため、検査員が修補指示
			-					
		田面、畦畔に不等		でよっ				
		電架が水の位直, 法面勾配が設計ど	深さ,延長が設計どおり	COO.				
			ゃりである。 そ均平に仕上げられてい					
			式が設計どおりであり、					
			式が設計とおりであり、 に除去されている。(基					
		田圃の石礫が適切 その他(理由:	に除去されている。(産	経囲及い衣工曲)。				
		ての他(连由:)		
		【水路工】						
		材料が設計図書の	仕様を満足しており、品	賃が証明書類で確認でき	る。			
		材料の保管管理が	適切に行われていること	が確認できる。				
		コンクリート二次	製品納品時外観等確認記	2録簿が整理されている。				
		取水口、落水口が	取排水に支障の無いよう	設置されている。(位置	(, 高さ等)			
		用水路・排水路の	布設が設計どおりである	。 (勾配, 高さ, 既設接	続等)			
		構造物の施工基面	が平滑に仕上げられてい	る。				
		重要構造物(ボッ	クスカルバート、橋台等	(4) 支持地盤の確認できる	資料がある。			
		構造物周りの入念	な埋め戻し状況が確認で	きる。				
		構造物の接合が適	切で入念な仕上げが確認	いできる。				
		構造物に有害なク	ラックが無い。					
		その他(理由:)		
						,		
		[関連基準, 土木	:工事施工管理基準, その	象項目の履行状況(評価の の他設計図書に定められた		新基準参照 >		
		<u>※はらつきの判</u> ●判断基準	断は別紙-4参照。					
		●刊例基準	ばらつきで判				」 「対象項目」のうち,対象とした	
		評 90%以上		80%を超える 判断不可能 b b	+)ある場合は削除後の評価項目数 ト算の値で評価する。	女を母数として計算し
		価 75%以上90% 値 60%以上75%	k満 a' b		.0%) =該当項目数 (0) /評値 送後の評価対象項目数が2項目以			
		60%未満	b' c	с с с с	1	する。	、 (X - Z p)	N 1 57 7 M LITA C FI IMIC
		注 試験結果の打点数等が少	なくばらつきの判断ができ	ない場合は評価対象項目(評値	西値)だけで判断する。			
J		1					1	

					(火.4.只/11)
考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	ほ場整備工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0%			
		田面、畦畔の仕上げが良好である。			
Ⅲ 出来ばえ		湧水に対しての対策が適切になされている。			
III HAVISA		INDIAN - NO IN NO IN NO			
		構造物の通りが良い。			
		田子さどれ ベナフ			
		田面高が均一である。			
		構造物からの漏水がほとんど無い。			
		特色物がものが解析がなどがと無く。			
		既設構造物とのすりつけが良い。			
		Sugaritization of the second o			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当6項目以上・・・a			
		該当5項目・・・・b			
		該当4項目・・・・c			
		該当3項目以下・・・d			
		MACKET U			

(烩杏昌田)

								(大五兵/11/
考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	ため池整備工事	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		【共通】	值= 0.0%		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指			
Ⅱ 品質				品質が証明書類で確認でき			ため、監督員が又書で指 示を行い改善された。	ため、検査員が修補指示 を行った。
		雨水、湧水による	崩壊が起こらないように	L, 排水対策を実施してい	ることが確認できる。			
		仕様書等で定めら	れている品質管理が実施	直されている。				
		有害なクラックが無い。						
		その他(理由:)		
		【築堤工関係】						
		施工条件に適した	締固め等を適切に行って	こいる。				
		構造物周辺の締固	めを設計図書に定められ	iた条件で行っていること	が確認できる。			
		築堤に伴う管理試	験を適切に行い記録が鏨	を 理されている。				
		法面保護等の材料	のかみ合せ又裏込材が通	切である。				
		法面に有害な亀裂	が無い。					
		その他(理由:)		

【取水施設工・洪水叶工関係】

基礎地盤の処理を適切に行っている。

構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

スペーサーの品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。

コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。

ゲート等の機能が設計図書との適切性が確認でき、証明書が整備されている。

推進工の方向、角度が適性で施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

その他(理由:

【ボーリング・グラウト工関係】

ボーリング工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

グラウト工の施工上の注意事項(仕様書)が守られている。

ボーリング・グラウト工の記録等が仕様書に定められている事項が確認できる。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	つきで判断	可能	ばらつきで
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評	90%以上	a	a'	b	b
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	c
	60%未満	b'	С	С	С

- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。
- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%) =該当項目数(0) /評価対象項目数(0)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と する

考査項目	工 種	a	b	С	(快宜貝州)					
3. 出来形及び	ため池整備工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0%		·						
		【共通】								
Ⅲ 出来ばえ		仕上げが良い。								
		天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。								
		止水に対する適切な対応がなされ変状が無い。								
		きめ細かな施工がなされている。								
		全体的な美観が良い。								
		【築堤工関係】								
		既設構造物等へのすりつけが適切に行われ	ている。							
		法面保護の材料のかみ合わせが良い, またれ	植生等の状態が均一である。							
		土取場の整理,残土等は適切に処理されてい	いる。							
		【取水施設工・洪水吐工関係】								
		コンクリート構造物の表面状態が良い。								
		コンクリート構造物の通りが良い。								
		構造物等にきめ細かな施工がなされている。								
		施工管理記録などから不可視部分の出来ば、	えの良さがうかがえる。							
		操作設備の総合的な機能,運転性能が優れて	ている。							
		●判断基準								
		評価値が80%以上・・・・・a 評価値が60%以上80%未満・・・b								
		評価値が40%以上60%未満・・・c								
		評価値が40%未満・・・・・・d								

(檢查員用)

考査項目	工種	a	а,	b	b '	С	d	(検査員用) e
3. 出来形及び	農地海岸工事	□ 優れている	□ bより優れている	-	□ cより優れている		□ やや劣っている	
出来ばえ			f値= 0.0%				□ 品質関係の測定方法又 測定値が不適切であっ	は □ 品質関係の測定方法又は
Ⅱ 品質		台風等の異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 工事期間中,1 日1 回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。					ため,監督員が文書で 示を行い改善された。	
		濁り防止等環境係	全に十分注意して施工し	ていることが確認できる) ₀			
		既設構造物に影響	₽の無いよう十分検討して	「施工されていることが 確	電認できる。			
)						
		【基礎捨石・被覆	夏石 】					
		施工基面を平滑に	2仕上げていることが確認	Rできる。				
		捨石,被覆石等材	†料の規格・品質が試験成	対績表等(現物照合を含む)	で確認できる。			
		捨石,被覆及び枯	見 固め石が緩みの無いよう	堅固に施工され, 記録に	こより確認できる。			
		航行船舶及び一船	始に影響の無いよう十分	検討して施工されている	ことが確認できる。			
		その他(理由:)		
		【被覆ブロック】						
		コンクリートの日 できる。	E縮強度を管理し,必要な	:強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	fっていることが確認		
		運搬,打設,締め)固めが,気象条件に適し	ており,設計図書の仕様	もを満足していることが確	望認できる。		
		圧縮強度試験に使	E用したコンクリート供記	は体が、当該現場の供試体	であることが確認できる) _o		
		転倒や崩壊等が無	モいようコンクリートブロ	ックの仮置を行っている	ことが確認できる。			
			合試験及び試験練りを行 は,アルカリ骨材反応抑制	最大骨材粒径,塩化				
		コンクリート打割	はまでに錆・どろ・油等 σ)有害物が、鉄筋に付着し	ないよう管理しているこ	ことが確認できる。		
		鉄筋の組立及び加	コエが,設計図書の仕様を	満足していることが確認	3できる。			
		コンクリート受け	†入れ時に必要な試験を集	だ施しており,温度,スラ	ンプ、空気量等の測定線	告果が確認できる。		
		コンクリート打割	はまでの鉄筋の保管管理が	ぶ適正であることが確認で	ぎきる。			
		製作ヤード及び仮	夏置場は平滑に仕上げられ	にている。				
		有害なクラックか	(無い。					
		. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	リック相互の噛み合せが良 ぬにより確認できる。	く、(異型消波・根固め	が消波)接合部の段差が無	まい等,安定した状態		
		その他(理由:)		

(検査員用)

【護岸工】

運搬、打設、締め固めが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

基礎工において、過掘が無く施工していることが確認できる。

有害なクラックが無い。

コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。

鉄筋の品質を, 適切に管理していることが確認できる。

施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。

裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないよう十分に行っていることが確認できる。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

	O 1161 62 1											
		ばら	ばらつきで判断可能									
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能							
評	90%以上	a	a'	b	b							
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'							
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С							
	60%未満	b'	С	С	С							

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し
- た比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(32)
- ④ なお,削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と する。

考査項目	工 種	a	b	С	d d
3. 出来形及び	農地海岸工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0%			
		コンクリート構造物の表面状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		コンクリート構造物の通りが良い。			
		天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。			
		有害なクラックが無い。			
		既設構造物とのすりつけが良い。			
		石等のかみ合わせが良く、緩みが無い。			
		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの)良さがうかがえる。		
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準			
		該当7項目以上・・・a 該当6項目・・・・・b			
		該当5項目・・・・c			
		該当4項目以下・・・d			

(檢查員用)

							1	(快宜貝用)
考査項目	工 種	a	a '	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び	基礎捨石,被覆石,	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	被覆ブロック工事	●評価対象項目 評価値= 0.0% 【共 通】					□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		濁り防止等環境保		ため、監督員が文書で指	ため、検査員が修補指示			
		既設構造物に影響	の無いよう十分検討して	「施工されていることが	確認できる。		示を行い改善された。	を行った。
		航行船舶に影響の	無いよう十分検討して旅					
		材料等の品質に異	常値が想定される場合,	認できる。				
		気象・海象を十分	調査して施工されている	ことが確認できる。				
		設計図書に定めら	れた施工上の注意事項が	ぶ守られていることが確認	認できる。			
		作業船が十分管理	下におかれ、統率されて	いることが確認できる。				
		その他(理由:)		
		【ブロック据付関	係】					
		ブロックの転置,	仮置に際して,強度確認	忍を行っている。				
		ブロックの仮置作	業において, 転倒, 崩壊	要等の恐れが無い。				
		ブロックの据付に	先立ち,気象・海象等を	十分に調査し、据付作	業が所定の精度で行われて	いる。		
		ブロック相互の噛	み合せ良く,接合部の段	と 差が無い等安定な状態 ⁻	で施工され,これが記録に	こより確認できる。		
		ブロック相互間に きる。	間詰石, 転落石のはまり	込みやかみ合わせ石の打	挿入が無く施工され,これ	いが記録により確認で		
		ブロック据付等に	おいて、ブロック及び悶	E設構造物に損傷が無く,	適切に施工されている。			
		その他(理由:)		
L	l.						I .	

(検査員用)

【コンクリート関係】

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c,最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

施工条件や気象条件に適した運搬時間,打設の投入高さ及び締固め方法が,定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む)

コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。

コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。

鉄筋 (PC鋼材含む) の品質が, 証明書類で確認できる。

鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。

鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。

スペーサーを適切に配置し、鉄筋の被りを確保している。

コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

プレビーム桁のプレフレクッション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。

PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

有害なクラックが無い。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

ſ			ばら	ばらつきで判断可能					
ı			50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能			
ſ	評	90%以上	a	a'	b	b			
۱	価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'			
۱	値	60%以上75%未満	b	b'	c	С			
۱		60%未満	b'	С	С	С			

- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。
- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(34)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目	工 種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	基礎捨石,被覆石,	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ	被覆ブロック工事	●評価対象項目 評価値=0.0% コンクリート構造物の表面状態が良い。								
Ⅲ 出来ばえ		コンクリート構造物の通りが良い。								
		天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。								
		クラックがない。								
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d								

(烩杏昌田)

考查項目 工 種	a	а,	b	b '	С		d	e (快追貝用)
3. 出来形及び 港湾築造工事	□ 優れている	□ bより優れている		□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質	●評価対象項目 評価値= 0.0% 【共 通】 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。							□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
		航行船舶に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。 材料等の品質に異常値が想定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。						
	気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。 設計図書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。						測定値が不適切であった ため,かし担保による修 補又は損害賠償請求を行 い改善された。	

	その他(理由:)							
	土砂処分における	- 運搬途中で漏出がないよ						
	潮位及び潮流、源	後決等の状況を十分把握し						
	土質改良を適切に	行っていることが記録で						
	土捨場土量に制約]がある場合,適切な土量						
	土捨場に制約が無く,深掘しても周辺構造物に影響が無い場合,今後の埋没も考慮し,深く平坦に仕上がってい る。							
	土質に対して, 道 作業日数短縮等も		、, 周辺環境への影響を最	小限に抑えている。(大	型船による施工で,			
	浚渫・床掘時に潅	り防止に十分注意して,	漏出が無いように施工し	ていることが確認できる) _o			
		エにおいて,作業現場の 選定していることが確認	土質条件,海象条件,周 窓できる。	辺海域の利用状況等を考慮	慮して,効率的作業			
	土砂運搬において,施工の効率,周辺海域の利用状況を考慮して,土砂の運搬経路を決定していることが確認で きる。							
	置換材の規格・品	質が試験成績表等(現物	照合を含む)で確認できる	0.				
	砲弾等の爆発物が	発見された場合,関係機	と関への報告が速やかにな	されていることが確認で	きる。			
	その他(理由:)			

(検査員用)

【地盤改良関係】 改良材料の管理記録が整理され、品質管理を適切に行っていることが記録で確認でき、設計図書の仕様を満足し 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。 サンドドレーン、砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続した一様な形 状・品質に施工されていることが打込記録等により確認できる。 ペーパードレーンが計画深度まで破損無く正常に形成されていることが打込記録等により確認できるとともに、 打設を完了したペーパードレーンの頭部が保護され、排水効果が維持されていることが確認できる。 深層混合処理の打込記録等から、設計図書に定められている事項が確認できる。 前記以外の改良工法について、記録から設計図書に定められている事項が確認できる。 盛上り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。 その他(理由: 【マット, 捨石及び均し関係】 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 マットが破損なく所定の幅で重ね合わせられていることが写真記録等により確認できる。 捨石、被覆及び根固め石が緩みの無いよう堅固に施工され、記録により確認できる。 裏込めが既設構造物及び防砂目地板の破損が無く施工され、記録により確認できる。 捨石、被覆石等の石材は、扁平細長でなく、風化凍壊の恐れのないものが使用されていることが確認できる。 施工面から浮泥等の品質の害となるものを除去してから施工されていることが確認できる。 マットの施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 捨石、被覆及び根固め石の施工が平滑に仕上げられていることが記録により確認できる。 その他(理由:

(検査員用) 【本体・杭及び矢板、控工関係】 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 鋼材の保管にあたり、変形及び塗覆装面に損傷を与えないよう、適切に処置されていることが確認できる。 杭及び矢板に損傷及び補修痕が無く施工されていることが確認できる。 杭及び矢板の打止めの施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 腹起し材を全長にわたり規定の水平高さに取り付け、ボルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認 できる。 タイロッドは隅角部等特別な場合を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 溶接及び切断の品質管理に関して設計図書の仕様を満足している。 その他(理由: 【本体:ケーソン据付,ブロック据付関係】 ケーソン仮置に先立ち仮置場を調査し、仮置作業が所定の位置に異常無く行われていることが確認できる。 ケーソン据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 ケーソン据付等及び中詰においてケーソン及び既設構造物等の破損が無く施工されていることが確認できる。 コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが 確認できる。 ブロック据付等においてブロック及び既設構造物等の破損が無く施工されていることが確認できる。 ケーソンえい航に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。 ケーソンえい航に先立ち、上蓋、安全ネット又は吊り足場等を設置し、墜落防止の措置を講じていることが確認 できる。 ケーソン注水時の隔室の水頭差が1m以内になるように管理されていることが確認できる。 ケーソン仮置き、据付の時期について、設計図書を満足するよう実施されていることが確認できる。 中詰において海上漏出が無いように施工されていることが確認できる。

その他(理由:

【コンクリート関係】

コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c,最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。

コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。

圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。

施工条件や気象条件に適した運搬時間,打設時の投入高さ及び締固め方法が,定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)

コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。

コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。

鉄筋 (PC鋼材含む) の品質が, 証明書類で確認できる。

コンクリート打設までに錆・どろ・油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。

鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。

スペーサーを適切に配置し、鉄筋の被りを確保している。

コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。

プレビーム桁のプレフレクッション管理が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

使用する装置及び機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。

PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の使用を満足していることが確認できる。

有害なクラックが無い。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	ばらつきで判断可能					
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能			
評	90%以上	a	a'	b	b			
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'			
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С			
	60%未満	b'	С	С	С			

- 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。
- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 - ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(74)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と する。

考査項目	工種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	港湾築造工事	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 構造物等の通りが良い。								
Ⅲ 出来ばえ		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。								
		構造物等の表面及び端部の仕上げが良い。								
		構造物等のきめ細やかな施工がなされている。								
		全体的な美観が良い。								
		クラックがない。(コンクリート工事が含	まれる場合)							
		●判断基準								
		(コンクリート工事がない場合)	(コンクリート	(コンクリート工事が含まれる場合)						
		該当4項目以上・・・a	該当5項目以上	• • • a						
		該当3項目・・・・b	該当4項目・・	• • • b						
		該当2項目・・・・c	該当3項目・・	• • • c						
		該当1項目以下・・・d	該当2項目以下	• • • d						

(烩杏昌田)

考査項目	工	種	а	a '	b	b '	С	1	d	e e
3. 出来形及び		1-2-	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない		□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質			●評価対象項目 評価値= 0.0% 【共 通】 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。						品質関係の測定方法又は 則定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	
			既設構造物に影響の無いよう十分検討して施工されていることが確認できる。							
			航行船舶に影響の	無いよう十分検討して施	正されていることが確認	くできる。				
			材料等の品質に異	常値が想定される場合,	品質確認に必要な試験等	が行われていることが確	超認できる。			
			気象・海象を十分	調査して施工されている	ことが確認できる。					
			設計図書に定めら	れた施工上の注意事項が	い守られていることが確認	いできる。				
			作業船が十分管理	下におかれ、統率されて	いることが確認できる。					
			その他(理由:							
			【浚渫・床掘関係 土砂処分における	】 運搬途中で漏出がないよ						
			潮位及び潮流,波	浪等の状況を十分把握し						
			土質改良を適切に	行っていることが記録て						
			土捨場土量に制約	がある場合,適切な土量						
			土捨場に制約が無 る。	く,深掘しても周辺構造	を物に影響が無い場合,今	後の埋没も考慮し,深く	平坦に仕上がってい			
			土質に対して,適 作業日数短縮等も		, 周辺環境への影響を最	:小限に抑えている。(大	マ型船による施工で,			
			浚渫・床掘時に濁	り防止に十分注意して,	漏出が無いように施工し	ていることが確認できる				
				こにおいて,作業現場の 選定していることが確認	土質条件,海象条件,周 記できる。	辺海域の利用状況等を考慮	慮して,効率的作業			
		土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。 置換材の規格・品質が試験成績表等(現物照合を含む)で確認できる。 砲弾等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。								
			その他(理由:)			

(検査員用) 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●判断基準 ばらつきで判断可能 ばらつきで ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 50%以下 80%以下 80%を超える 判断不可能 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算し 90%以上 a' た比率(%)計算の値で評価する。 価 75%以上90%未満 b' ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (20) 值 60%以上75%未満 ④ なお, 削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と 60%未満 b' С С 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

						(八五久/11/							
考査項目	工	種	a	b	c	d							
3. 出来形及び	港湾築造工事		□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている							
出来ばえ			●評価対象項目 評価値=0.0% 規定された水深・勾配又は改良深度等が確	●評価対象項目 評価値=0.0% 規定された水深・勾配又は改良深度等が確保されている。									
Ⅲ 出来ばえ			施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。										
			施工後の表面及び底面等の全体的な仕上げが良い。										
			浚渫及び盛り上り土等の土砂が適切に処理されている。										
			●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d										

								(大旦兵/11/	
考査項目	工 種	a	a'	b	b '	С	d	e	
3. 出来形及び	浚渫工事 (河川等)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている	
出来ばえ		- 111 11-11 41 41 41 41 11 11	i値= 0.0% 全に十分注意して施工し	ていることが確認でき	3 .		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった		
Ⅱ 品質		後渫工の施工上の注意事項(仕様書等による)が守られていることが確認できる。							
		構造物周辺におい	て施工する場合, 構造物	に影響を与えていない。	ことが確認できる。				
		浚渫前,浚渫後の 確認ができる。)	河床高の管理が適切にる	(土量等計測による					
		漁協,関係機関等	への協議が適切に行われ	たことが記録により確認	認できる。				
		その他(理由:)			
		●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上909 評価値が70%以上809 評価値が60%以上709 評価値が60%未満・	る未満・・・a' ② る未満・・・b 3 4 4 4 4 4 4 4	削除項目のある場合は た比率(%)計算の値で評 評価値(0.0%)=該	のうち、対象としない項は削除後の評価項目数を母達 は削除後の評価項目数を母達 評価する。 当項目数 (0) /評価対象項 対象項目数が2項目以下の対	数として計算し 項目数 (7)			

考査項目	工 種	a	b	С	d			
3. 出来形及び	浚渫工事 (河川等)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている			
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% きめ細かな施工がなされている。						
Ⅲ 出来ばえ	Ⅲ 出来ばえ 施工管理記録等から施工の状態が良いことが確認できる。							
		規定された勾配で施工されている。						
		浚渫の変化部に緩衝帯等を設け適切に施工	こされている。					
		全体的な美観が良い。						
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目・・・・d						

考查項目		а	a ,	b	h '	С	ф	
V == 7	投入管理(港湾)					□ 他の評価に該当しない		
考査項目 3. 出来形及び 出来ばえ II 品質	工 種 投入管理 (港湾)	施工区域標識等 トータルステー 音響測深機等の 検潮表示板等が 測深作業の管理 投入可能量・実 個々の土砂の管理 投入区域の選定 個々の投入指示 濁り防止等環境	資料で確認できる。 が、埋立工事全般において が適切に行なわれており、 呆全に十分注意して施工し	ことが確認できる。 深器等の検定が行われていることが確認できる。 って実施されていること; ご管理されており,資料 及び受入に係る外観検査: て合理的なものとなって; 投入指示の記録が整備 こていることが確認でき	いることが確認できる。 る。 が確認できる。 も整備されている。 共に適正に行われており、 おり、そのことが資料によ されている。	そのことがチェック こり確認できる。		e □ 劣っている □ 出質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示を行った。
		●判断基準 評価値が90%以上・ 評価値が80%以上90 評価値が70%以上80 評価値が60%以上70 評価値が60%未満・	%未満・・・b %未満・・・b	② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値で③ 評価値(0.0%) = 記	」のうち、対象としない項は削除後の評価項目数を提評価する。 该当項目数(0)/評価対象対象項目数が2項目以下の	母数として計算し 象項目数 (12)		

+ + - = -	ア 任		1		1				
考査項目	工 種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	投入管理 (港湾)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ		●評価対象項目							
		通りが良い。							
Ⅲ 出来ばえ		仕上げが良い。							
		端部処理が良い。							
		構造物へのすりつけ等が良い。							
		施工管理記録等から,不可視部分の出来ば、	えの良さが伺える。						
		●判断基準							
		該当4項目以上・・・a							
		該当3項目・・・・b							
		該当2項目・・・・c							
		該当1項目以下・・・d							

(烩杏昌田)

-tv -t+			,	T .				(検査員用)
考査項目	工 種 三	a	a '	b	b'	C	d	e
	浮函及び連絡橋製作・設置工事 (係船杭工事は基礎工事に準じ	□優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ	3)						□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	
Ⅱ 品質		材料の品質規格証明書が整備されている。 材料の保管管理が適切に行われていることが確認できる。(鉄筋、鋼材ほか)						ため、検査員が修補指示 を行った。
		材料の保管管理が	適切に行われていること		示を行い改善された。	⊊11.21⊂°		
			合試験及び試験練りを行 、アルカリ骨材反応抑制	最大骨材粒径,塩化				
		コンクリート受け	入れ時に,温度,スラン	/プ,空気量等必要な試験	食を実施しており, 測定結	F果が確認できる。		
		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供討	はなが、当該現場の供試体	であることが確認できる	0.		
			. ,		機種及び養生方法が, 施 (寒中及び暑中コンクリ			
		コンクリートの圧 できる。	縮強度を管理し、必要な	・強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	うっていることが確認		
		鉄筋(鋼材等) の	組立及び加工が、設計図	書の仕様を満足している	ことが確認できる。			
		スペーサーの寸法	, 品質及び個数が, 設計	 図書の仕様を満足してV	ることが確認できる。			
		スペーサーを適切	に配置し、鉄筋の被りを	確保している。				
		コンクリートのP	コン及び打継ぎ目につい	いて外面防水工を施工して	いることが確認できる。			
		装置(機器)のキ	ャリブレーションが実施	Eされている。(緊張及び	高力ボルト締付工に関する	るもの)		
		緊張及びグラウト	管理が適切に実施されて	いる。				
		プレストレッシン	グ時のコンクリート強度	ほが適切であることが確認	いできる。			
		主要部材の自由縁	が規定どおり面取りされ	にている。				
		ボルトの締付け確	認が実施され,適切に託	2録が保管されている。				
		溶接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	_{ずっている。}				
		塗装する面が乾燥	状態であることが確認て					
		ケレンが入念に実施されていることが確認できる。						
	塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。							
		気密試験が行われ	ており、適切に施工され	ていることが確認できる	0.0			
		その他(理由:				,		
)		

(検査員用)

【設置関係】

浮函の乾舷が設計どおり適切に施工されている。

浮函・連絡橋の設置位置に対して適切な管理を行っている。

浮函・連絡橋の管理において、大潮の満潮時及び干潮時に、2潮以上、間隔をあけ測定している。

係船杭のローラーが浮函との適切な遊間を有してボルトで適切に締付けされている。

現場溶接が適切に行われていることが確認できる。

現場塗装が適切に行われていることが確認できる。

敷鉄板の下に空洞が無く密着して設置されている。

有害なクラックが無い。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評	90%以上	a	a'	b	b
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	С	С	С

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値 (0.0%) =該当項目数 (0) /評価対象項目数 (31)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。

考査項目	工種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	浮函及び連絡橋製作・設置工事	□ 優れている□ やや優れている□ 他の評価に該当しない□ 劣っている							
出来ばえ	(係船杭工事は基礎工事に準じる)	●評価対象項目 仕上り状態が良く、全体的な美観に優れている。							
Ⅲ 出来ばえ									
		表面に補修痕跡等が無い。							
		製作・設置の細部に渡る配慮が良い。							
		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえ	の良さがうかがえる。						
		全体的な美観が良い。							
	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・・・b 該当3項目・・・・・c 該当2項目以下・・・d								

(烩杏昌田)

						•		(検査員用)
考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	防食工事 (港湾)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価 【電気防食工関係	Б値= 0.0% 系】				□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
Ⅱ 品質		品質や性能確保の	のための製作着手前の技術	トト検討が十分実施され,₽	内容が確認できる。		のた値が不適切であった ため、監督員が文書で指	例を個が不適切であった。 ため、検査員が修補指示
		材料の品質照合え	バミルシート等(現物照合	合を含む。) で確認でき,	満足している。		示を行い改善された。	を行った。
		部品の品質,性能	とが証明書等で確認でき,	満足している。				
		機器の品質,機能	E, 性能が成績書等で確認	忍でき,満足している。				
		ケレンが入念に加	軍工されていることが記録	录により確認できる。				
		溶接管理が設計	書のとおり実施され, 内容	宮が確認でき, 欠陥が無く	(満足している。			
		塗装管理が設計	書のとおり実施され, 内容	宮が確認でき, 欠陥が無く	(満足している。			
		製品の機能,性能	能管理が設計書のとおり	実施され、内容が確認でき	き,欠陥が無く満足してレ	いる。		
		操作制御関係が,						
		設備の総合性能力						
		その他(理由:)		
		【FRPモルタルライニング、ペトロラタムライニング、コンクリート被覆関係】						
		共通仕様書に記載	ぱされていない項目につい	いて,管理基準等が施工語	十画書に明記されている。			
		材料の品質規格証明書が整備されている。						
		工程ごとの施工管	管理がチェックリスト等 を	を用いて実施されているこ	ことが確認できる。			
		ケレンが入念に加	直工されていることが記録	录により確認できる。				
		ケレン後、速やな	いに被覆防食の施工が行れ	つれていることが記録に。	より確認できる。			
		モルタル注入, さ る。	コンクリート打設は、型材	卆取付後速やかに行われ,	型枠内に完全に充填され	いたことが確認でき		
		ペトロラタムペー	-ストの塗布及びテープの	D巻き付けが適正に行われ	1ていることが確認できる	,)		
		保護カバーの設置	置が適正に行われているこ	ことが確認できる。				
		材料の入荷管理,	使用量管理及び入荷材料	斗の養生が適正に行われ っ	ていることが確認できる。			
		その他(理由:)		
						,		

【防食塗装関係】

材料の品質規格証明書が整備されている。

塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。(重ね塗りの場合を含む。)

ケレンが入念に実施されていることが確認できる。

塗料の空缶管理が、写真等で確実に空であることが確認できる。

施工時の天候、気温、及び湿度等の条件が整理記録されている。

塗料を使用前に撹拌し、容器底部に顔料が沈殿していないことが確認できる。

途膜に有害な付着物が無い。

塗り残し、ムラ、気泡、たれ、はけ目等の欠陥が無い。

その他(理由:

品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。

●判断基準

		ばら	ばらつきで		
		50%以下	80%以下	80%を超える	判断不可能
評	90%以上	а	a'	b	b
価	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
値	60%以上75%未満	b	b'	С	С
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで判断する。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(0.0%)=該当項目数(0)/評価対象項目数(30)
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価と する。

考査項目	工 種	a	ь	С	d
3. 出来形及び	防食工事 (港湾)	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 【共通】			
Ⅲ 出来ばえ		構造物等の細部まできめ細かな施工がなさ	れている。		
		全体的な美観が良い。			
		【電気防食工関係】			
		公共物としての安全性,環境,環境及び維	持管理への配慮が良い。		
		既設構造物とのすりつけが良い。			
		製作上の補修痕跡が無い。			
		【FRPモルタルライニング,ペトロラタム	ライニング,コンクリート被覆関係】		
		表面に補修箇所,傷,錆が無い。			
		端部や取付部の処理が良い。			
		ケレンの施工状況が良好である。			
		【防食塗装】			
		塗装の均一性が良い。			
		補修箇所が無い。			
		ケレンの施工状況が良好である。			
		●判断基準(評価項目が9項目以上) 評価値が85%以上・・・・・a 評価値が70%以上85%未満・・b 評価値が45%以上70%未満・・・c 評価値が45%未満・・・・・d	●判断基準 (評価項目が6,7,8項目) 評価値が80%以上・・・・・a 評価値が65%以上80%未満・・b 評価値が45%以上65%未満・・・c 評価値が45%未満・・・・・・ d	●判断基準 (評価項目が5項目以下) 評価値が75%以上・・・・・a 評価値が55%以上75%未満・・b 評価値が30%以上55%未満・・・c 評価値が30%未満・・・・・・d	

考査項目		I.	種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	防潮扉			□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ Ⅱ 品質				品質や性能確保の 材料の品質照合か	i値= 0.0% かための製作着手前の技術 バミルシート等(現物照合	を含む)で確認でき、滞			□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指	測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示
				部品の品質, 性能	診証明書等で確認でき,	満足している。			示を行い改善された。	を行った。
				機器の品質,機能	は、性能が成績書等で確認	でき,満足している。				
				溶接管理が設計書	のとおり実施され, 内容					
				塗装管理が設計書	Fのとおり実施され,内容	が確認でき, 欠陥が無く	満足している。			
				製品の機能,性能	管理が設計書のとおり実	葉施され,内容が確認でき	、欠陥が無く満足してV	いる。		
				操作制御関係が,	所定の機能を有している	とともに,必要な安全装	長置,保護装置の機能が確	崔認できる。		
				設備の総合性能が	設計図書のとおり確保される。	れ,内容が確認でき満足	としている。			
				主要部材の自由縁	ぬが規定どおり面取りされ	ている。				
				その他(理由:)		
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。<判断基準参照> [関連基準, 土木工事施工管理基準, その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙 - 4 参照。 ●判断基準										
						として計算し 目数 (11)				

(檢查員用)

					(快且貝用)				
考査項目	工種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	防潮扉	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 構造物の表面状態が良い。							
Ⅲ 出来ばえ		構造物の通りが良い。							
		主設備,関連設備,操作・制御設備が全体的に統制されており,運転操作性が優れている。							
		異常な振動,騒音が無く,動きもスムーズ	で,総合的な機能,運転性能が優れている。						
		公共物としての安全性、環境、環境及び維持	寺管理への配慮が良い。						
		溶接、塗装、組立等の細部に渡る配慮が良い	, \ _o						
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準 評価値が80%以上・・・・・a 評価値が65%以上80%未満・・・b 評価値が45%以上65%未満・・・ c 評価値が45%未満・・・・・ d							

考査項目	工 種	a	a '	Ъ	b'	С	d	e
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
田来ばえ Ⅱ 品質	(コンクリート一体打魚礁)	コンクリートの配 物総量,単位水量	,アルカリ骨材反応抑制	9等)が確認できる。	の品質(強度・w/c, 量ンプ, 空気量等の測定結		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった
				htt. 30 - 34-34-4-11 - 111-3-htt				
		上縮強度試験に使	用したコンクリート供診	ば体が、 当該現場の供試体	であることが確認できる	0		
				打設時の投入高さ及び締 キ中コンクリート等を含む	活固め方法が,ており,定 か)	がられた条件を満足		
		コンクリートの圧 できる。	縮強度を管理し、必要な	・強度に達した後に型枠及	び支保工の取り外しを行	っていることが確認		
		コンクリートの打	設前に、打継ぎ目処理を	r適切に行っていることが	確認できる。			
		鉄筋の品質を,適	切に管理していることか	確認できる。				
		コンクリート打設	までに錆・どろ・油等の	有害物が鉄筋に付着しな	いよう管理していること	が確認できる。		
		鉄筋の組立及び加	工が、設計図書の仕様を	:満足していることが確認	パできる。			
		圧接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	_{了っていることが確認でき}	る。			
		コンクリートの養	生が、設計図書の仕様を	:満足していることが確認	!できる。			
		スペーサーの品質	及び個数が、設計図書の)仕様を満足していること	が確認できる。			
		有害なクラックが	無い。					
		据付の施工上の注	意事項が守られている。	(仕様書等による)				
		その他(理由:)		
		[関連基準, 土木		象項目の履行状況(評価化 他設計図書に定められた	直)から判断する。<判匿 試験]	新基準参照 >		
		評 90%以上 (位) 75%以上90% (値) 60%以上75% (百) 60%未満 注 試験結果の打点数等が少	a a' 表演 a' b 表演 b' b' c	5 80%を超える 判断不可能 b b b b' b' c c c c c c		② 削除項目のる た比率(%)計 ③ 評価値(0.0	 対象項目」のうち,対象としな ある場合は削除後の評価項目数 算の値で評価する。 分) =該当項目数(0)/評価 後の評価対象項目数が2項目以	を母数として計算し 対象項目数 (15)
								_

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	(コンクリート一体打魚礁)	●評価対象項目 評価値=0.0% 構造物の表面状態が良い。			
Ⅲ 出来ばえ		クラックがない			
		出来形管理資料等から出来栄えの良さが伺	える。		
		きめ細やかな施工がなされている			
		全体的な美観が良い。			
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d			

考査項目	工 種	a	a'	b	b'	С	d	е	
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている	
出来ばえ	(コンクリート組立魚礁)	コンクリートの配物総量,単位水量	,アルカリ骨材反応抑制	デっており, コンクリート 引等) が確認できる。 E施しており, 温度, スラ	,		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、検査員が修補指示 を行った。	
Ⅱ 品質		圧縮強度試験に使	用したコンクリート供討	大体が, 当該現場の供試体	であることが確認できる	0.	かを111・以音で40た。	を1197 に 。	
			施工条件及び気象条件に適した運搬時間,打設時の投入高さ及び締固め方法が,定められた条件を満足していることが確認できる。 (寒中及び暑中コンクリート等を含む)						
		コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認 できる。							
		コンクリートの打	設前に、打継ぎ目処理を	:適切に行っていることが	確認できる。				
		材料が設計図書の	仕様を満足しており、品	占質が証明書類で確認でき	る。				
		コンクリート打設	までに錆・どろ・油等の)有害物が鉄筋に付着しな	いよう管理していること	が確認できる。			
		圧接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	fっていることが確認でき	る。				
		コンクリートの養	生が,設計図書を満足し	ていることが確認できる	0				
		スペーサーの品質	及び個数が、設計図書の)仕様を満足していること	が確認できる。				
		有害なクラックが	無い。						
		据付の施工上の注	意事項が守られている。	(仕様書等による)					
		その他(理由:)			
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。							
		●判断基準							
		価値 75%以上90%ラ 60%以上75%ラ 60%未満 注 試験結果の打点数等が少	k満 b b' c	b' b' c c c c c c c c xvv場合は評価対象項目(評価	面値)だけで判断する。		該当項目数(0) /評価対象項 西対象項目数が2項目以下の場		

考査項目	工 種	a	b	С	d					
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ	(コンクリート組立魚礁)	●評価対象項目 評価値=0.0% 二次製品等材料に細心の注意が払われている。								
Ⅲ 出来ばえ		製品の表面にヘアークラック、傷等がない	`.							
		出来形管理資料等から出来栄えの良さが伺	える。							
		きめ細やかな施工がなされている。								
		全体的な美観が良い。								
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d								

考査項目	工 種	a	a '	b	b '	С	d	е
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ II 品質	(鋼製組立魚礁)	仕様書等で定めら	値= 0.0% れている品質管理が実施 仕様を満足しており、品	直されている。 品質が証明書類で確認でき	· 3.		□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった
鋼材の種別を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。 魚礁に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。								
		据付の施工上の注	意事項が守られている。	(仕様書等による)				
	溶接及び切断の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。							
		溶接作業にあたり	,作業員の技量確認を行	売っている。				
		その他(理由:)		
		品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照>[関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 ●判断基準						
ばらつきで判断可能 ばらつきで						「対象項目」のうち、対象とした 対象項目」のうち、対象とした がある場合は削除後の評価項目 等の値で評価する。 0%)=該当項目数(0) /評価 を後の評価対象項目数が2項目し	数を母数として計算し 西対象項目数 (8)	

考査項目	工 種	a	b	С	d				
3. 出来形及び	魚礁工	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている				
出来ばえ	(鋼製組立魚礁)	●評価対象項目 評価値=0.0% 溶接、組立等にあたって、細部において配慮がされ、キズ等が無い。							
Ⅲ 出来ばえ		溶接に均一性がある。							
		出来形管理資料等から出来栄えの良さが伺;	える。						
		きめ細やかな施工がなされている。							
		全体的な美観が良い。							
		●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・・b 該当2項目・・・・c 該当1項目以下・・・d							

考査項目	工 種	a	a '	b	ь'	С	d	е
3. 出来形及び	魚礁工 (投石)	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出来ばえ		●評価対象項目 評価値= 0.0%						
Ⅱ 品質		投石帯が一様な形	状に施工され、これが言				示を行い改善された。	を行った。
		その他(理由:	工小任心事分() 0400	、いる。 (比球自分による)		
	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> [関連基準,土木工事施工管理基準,その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照。							
		●判断基準 評 90%以上 (1 75%以上90%オークでは、1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	k満 a' b k満 b b' b' c	80%を超える 判断不可能	<u>a</u>	② 削除項目のある場合 た比率(%)計算の値つ③ 評価値(0.0%)=	 コ」のうち、対象としない項目 古は削除後の評価項目数を母数 で評価する。 該当項目数(0) /評価対象項 西対象項目数が2項目以下の場	として計算し 目数 (5)

考査項目	工種	a	h	С	d					
3. 出来形及び	·	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている					
出来ばえ		●評価対象項目 評価値=0.0% 構造物の通りが良い。								
Ⅲ 出来ばえ		施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが伺える。								
Ⅲ 出来ばえ		材料の分布が均一に投入されている。								
		規定された水深・勾配等が確保されている。								
		●判断基準 該当3項目以上・・・a 該当2項目・・・・b 該当1項目・・・・c 該当項目なし・・・d								

(烩杏昌田)

少 木百口	工種	_	a '	1.	1. '	-		(快五兵/前/
考査項目	· ·	a	a	b	b'	С	d	e
3. 出来形及び	<a td="" 刈家工事がはりづさによる計画<=""><td>□ 優れている</td><td>□ bより優れている</td><td>□ やや優れている</td><td>□ cより優れている</td><td>□ 他の評価に該当しない</td><td>□ やや劣っている</td><td>□ 劣っている</td>	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
出品質	が不適切か丁車	●評価対象項目 評価 その他(理由: その他(理由: その他(理由: その他(理由:	五值= 0.0%)	□ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監督員が文書で指 示を行い改善された。	測定値が不適切であった
		その他(理由:)		
		その他 (理由: その他 (理由:)		
			※評価値が8 ※評価値が7 ※評価値が6	00%以上a 60%以上90%未満…a' 60%以上80%未満…b 60%以上70%未満…b' 60%未満c	とする			

別紙-3

考查項目別運用表

考査項目	工 種	a	b	С	d
3. 出来形及び	その他の工事又は合併工事 <a>対象工事がばらつきによる評価	□ 優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	が不適切な工事	●評価対象項目 評価値=0.0%			
		その他(理由:)	
Ⅲ 出来ばえ		その他(理由:)	
		その他(理由:)	
		その他(理由:)	
		その他(理由:)	
		※ 該当工種からの評価対象項目で評価を	行う。ただし,評価対象項目は最大5項目とする。		
		●判断基準 評価値が75%以上・・・・・a 評価値が50%以上75%未満・・・b 評価値が25%以上50%未満・・・c 評価値が25%未満・・・・・・d なお,削除後の評価対象項目数が2項目以下の	り場合はc評価とする。		

考査項目	工種	a	a'	b	b'	С	d	е
3. 出来形及び	その他の工事又は合併工事 対象工事がばらつきによる評価	□ 優れている	□ bより優れている	□ やや優れている	□ cより優れている	□ 他の評価に該当しない	□ やや劣っている	□ 劣っている
	その他の工事又は合併工事	□ 優れている		-				□ 劣っている □ 品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった
		●判断基準 (B>対象工事がばらつきによる評価が適切な工事 ① 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%② 評価値(0.0%) = 該当項目数(0) /評価対象項目数(8) ③ 評価対象項目数が2項目以下の場合は c 評価とする。			した比率(%)計算の値で評価) i する。 評 価 値	90%以上 a a' 75%以上90%未満 a' b 60%以上75%未満 b b'	所可能 80%を超える b b' c
							60%未満 b' c	С

別紙一3

考查項目別運用表

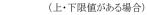
(檢查員用)

考査項目	工種			a	b	С	d
3. 出来形及び	その他の工事又は合併工事 対象工事がばらつきによる評価			優れている	□ やや優れている	□ 他の評価に該当しない	□ 劣っている
出来ばえ	が適切な工事		●評価対象項目	評価値=0.0%			
Ⅲ 出来ばえ			その他(理由	1:)	
		その他(その他(理由	1:)	
			その他(理由	1:)	
			その他(理由	1:)	
			その他(理由	1:)	
			※ 該当工種	からの評価対象項目で評価を	と行う。ただし,評価対象項目は最大5項目とする	0	
			評価値が50%以」 評価値が25%以」 評価値が25%未満	ヒ・・・・・a ヒ75%未満・・・b ヒ50%未満・・・c 満・・・・・・d 平価対象項目数が2項目以下	の場合はc評価とする。		

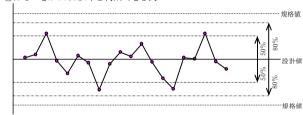
別紙-4

1 出来形及び品質のばらつきの考え方

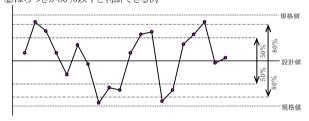
[管理図の場合]



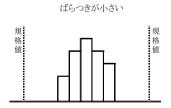
①ばらつきが50%以下と判断できる例

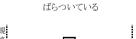


②ばらつきが80%以下と判断できる例



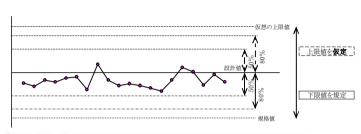
[度数表またはヒストグラムの場合]





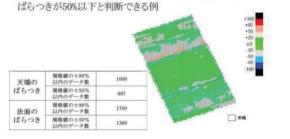


(下限値のみの場合)

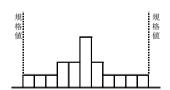


③ICT活用工事の例

出来形合否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを判断



ばらつきが大きい



- 2 多工種複合工事の取り扱い
 - (1) 主たる工種で評価する。なお、多工種で評定対象が重要な場合はこの限りではない。
 - (2) コンクリート橋は、プレテンション桁等、工場で製作される構造物も対象とする。
 - (3) 評定は「合併工事」欄等を活用する。